

(様式第 10)

9 京医病第 1 2 8 号
平成 2 9 年 1 0 月 4 日

厚生労働大臣 加藤 勝信 様

京都府公立大学法人
理事長 長尾 真



京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 2 8 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 6 0 2 - 8 5 6 6 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 4 6 5
氏 名	京都府公立大学法人

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

京都府立医科大学附属病院

3 所在の場所

〒 6 0 2 - 8 5 6 6 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 4 6 5 電話(0 7 5) 2 5 1 - 5 1 1 1

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜</p> <p>2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
①呼吸器内科	②消化器内科
③循環器内科	④腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科
⑦内分泌内科	⑧代謝内科
⑨感染症内科	⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科
⑪リウマチ科	
診療実績	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 (1)呼吸器外科 (2)消化器外科 (3)乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 (6)心臓血管外科 (7)内分泌外科 (8)小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科 (2)小児科 (3)整形外科 (4)脳神経外科 (5)皮膚科 (6)泌尿器科 (7)産婦人科 8産科 9婦人科 (10)眼科 (11)耳鼻咽喉科 (12)放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 (15)麻酔科 (16)救急科

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科 2矯正歯科 3口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

移植外科、小児心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、病理診断科、神経内科（老年内科）
--

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
118床	床	54床	床	893床	1,065床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	265人	290人	555人	看護補助者	32人	診療エックス線技師	人
歯科医師	5人	20人	25人	理学療法士	18人	臨床検査技師	62人
薬 剤 師	58人	10人	65.8人	作業療法士	7人	衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	11人	その他	人
助産師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	761人	63人	805.1人	臨床工学士	16人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	人	人	人	栄 養 士	3人	その他の技術員	29人
歯科衛生士	6人	人	人	歯科技工士	3人	事務職員	214人
管理栄養士	9人	5人	13人	診療放射線技師	47人	その他の職員	6人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	37人	眼科専門医	22人
外科専門医	65人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精神科専門医	8人	放射線科専門医	23人
小児科専門医	36人	脳神経外科専門医	9人
皮膚科専門医	8人	整形外科専門医	28人
泌尿器科専門医	16人	麻酔科専門医	28人
産婦人科専門医	22人	救急科専門医	3人
		合 計	318人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (北脇 城) 任命年月日 平成29年4月1日

医療に関する安全管理対策委員会委員・・・2年

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	621.3人	2.9人	624.2人
1日当たり平均外来患者数	1293.1人	113.5人	1406.7人
1日当たり平均調剤数	1,371.2剤		
必要医師数			143人
必要歯科医師数			7人
必要薬剤師数			21人
必要(准)看護師数			360人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備	概要		
集中治療室	281.67m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	病床数	12床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 181.70m ² [移動式の場合] 台数 9台		病床数	8床		
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床積 37m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	211m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) 生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、検体前処理装置、全自動グリコヘモグロビン測定装置、血糖検査機器、多項目自動血球分析装置、凝固検査機器、全自動細胞解析装置			
細菌検査室	99m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) 安全キャビネット、全自動血液培養検査装置、細菌同定検査装置、薬剤感受性検査装置、抗酸菌遺伝子検査装置、抗酸菌液体培養検査装置、			
病理検査室	284m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) 脱脂脱水包埋装置、自動染色機、クライオスタット、硬組織用切断機、自動封入機、顕微鏡システム、画像データベース、バーチャルスライドシステム			
病理解剖室	75m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) L字形ステンレス解剖台、写真撮影装置、ディープフリーザー、消毒装置、マクロ標本棚、体液吸引装置、脱脂脱水包埋装置			
研究室	3,792m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート 他	(主な設備) 核磁気共鳴装置、スペクトロメーター、画像解析装置、遠心器、マイクロトーム、光度計、血液分析装置			
講義室	616m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	室数	4室	収容定員	420人
図書室	1,080m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート 他	室数	27室	蔵書数	14,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11. 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	86.1%	逆紹介率	67.5%
算出根拠	A: 紹介患者の数			15,999人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			15,019人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			3,145人
	D: 初診の患者の数			22,239人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12. 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

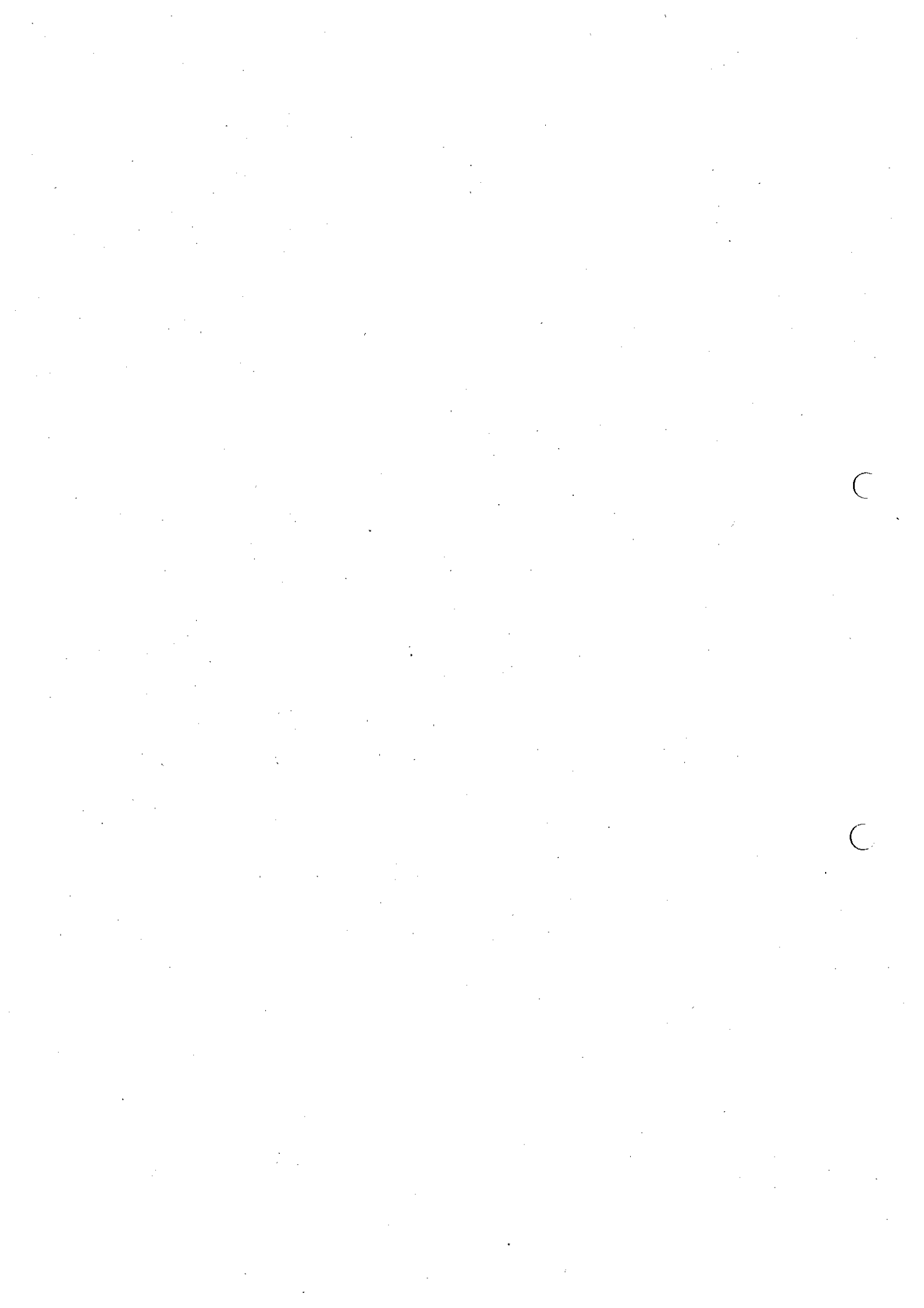
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
松村 由美	京都大学医学部 附属病院	○	特定機能病院の医療安全管理体制に精通している。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
平野 哲郎	立命館大学法科 大学院法務研究科		法律研究者として関係の法律に精通している。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
佐藤 恵子	京都大学医学部 附属病院		生命倫理学の観点から医療問題に精通している。	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
秋篠 憲一	同志社大学文学部 英文学科		本院の患者として医療を受ける者の代表	有 <input checked="" type="radio"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

13. 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表の方法 京都府公立大学法人のホームページに掲載	



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	4人
末梢血単核球細胞移植による慢性閉塞性動脈硬化症等に対する血管再生治療	0人
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	6人
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	2人
前眼部三次元画像解析	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	5人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	4人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	7人
自己口腔粘膜及び羊膜を用いた培養上皮細胞シートの移植術	0人
パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法	0人
術前のホルモン療法及びゾレドロン酸投与の併用療法	0人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ベーチェット病	134
2	筋萎縮性側索硬化症	25	57	特発性拡張型心筋症	126
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	92
4	原発性側索硬化症	6	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	80	60	再生不良性貧血	82
6	パーキンソン病	324	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	16	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	10	63	特発性血小板減少性紫斑病	143
9	神経有棘赤血球症	13	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	15	65	原発性免疫不全症候群	7
11	重症筋無力症	260	66	IgA腎症	105
12	先天性筋無力症候群	47	67	多発性嚢胞腎	23
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	169	68	黄色靱帯骨化症	23
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	68	69	後縦靱帯骨化症	82
15	封入体筋炎	26	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クロー・深瀬症候群	4	71	特発性大腿骨頭壊死症	310
17	多系統萎縮症	35	72	下垂体性ADH分泌異常症	10
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	164	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	15	74	下垂体性PRL分泌亢進症	2
20	副腎白質ジストロフィー	7	75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	49	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	98	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	10
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	37
24	亜急性硬化性全脳炎	2	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	11	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	6
27	特発性基底核石灰化症	6	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	33	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	246
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	61
31	ベスレムミオパチー	4	86	肺動脈性肺高血圧症	209
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	37
34	神経線維腫症	80	89	リンパ管筋腫症	1
35	天疱瘡	39	90	網膜色素変性症	90
36	表皮水疱症	16	91	パッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	10	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	17	93	原発性胆汁性肝硬変	245
39	中毒性表皮壊死症	8	94	原発性硬化性胆管炎	1
40	高安動脈炎	47	95	自己免疫性肝炎	10
41	巨細胞性動脈炎	2	96	クローン病	83
42	結節性多発動脈炎	61	97	潰瘍性大腸炎	400
43	顕微鏡的多発血管炎	186	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	8	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	9	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	25	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	31	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	589	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	84	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	103	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	132	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	17	108	TNF受容体関連周期性症候群	2
54	成人スチル病	14	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
113	筋ジストロフィー	3	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	0
118	脊髄髄膜瘤	8	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	3
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	5	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	1	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	1
158	結節性硬化症	3	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	1

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	37	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	13
224	紫斑病性腎炎	3	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	1	296	胆道閉鎖症	1
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	4
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	12

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクロームスてんかん	0	321	非ケトース型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	1	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・データ提出加算
・歯科外来診療環境体制加算	・退院支援加算
・歯科診療特別対応連携加算	・精神疾患診療体制加算
・(一般)特定機能病院入院基本料 7対1	・精神科急性期医師配置加算
・(結核)特定機能病院入院基本料 7対1	・特定集中治療室管理料2
・超急性期脳卒中加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・診療録管理体制加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・医師事務作業補助体制加算1	・小児入院医療管理料2
・急性期看護補助体制加算	・緩和ケア病棟入院料
・看護補助加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・重症者等療養環境特別加算	
・無菌治療室管理加算1	
・無菌治療室管理加算2	
・緩和ケア診療加算	
・精神科応急入院施設管理加算	
・精神科身体合併症管理加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・栄養サポートチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	
・病棟薬剤業務実施加算1	
・病棟薬剤業務実施加算2	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病合併症管理料	・脳波検査判断料1
・がん性疼痛緩和指導管理料	・神経学的検査
・がん患者指導管理料1	・補聴器適合検査
・がん患者指導管理料2	・ロービジョン検査判断料
・がん患者指導管理料3	・コンタクトレンズ検査料1
・外来緩和ケア管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・内服・点滴誘発試験
・糖尿病透析予防指導管理料	・画像診断管理加算1
・院内トリアージ実施料	・遠隔画像診断
・外来放射線照射診療料	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・ニコチン依存症管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・がん治療連携計画策定料	・冠動脈CT撮影加算
・薬剤管理指導料	・心臓MRI撮影加算
・医療機器安全管理料1	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・医療機器安全管理料2	・外来化学療法加算1
・歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	・無菌製剤処理料
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・遺伝学的検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・遺伝カウンセリング加算	・歯科口腔リハビリテーション料2
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・認知療法・認知行動療法1
・胎児心エコー法	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・医療保護入院等診療料
・ヘッドアップティルト試験	・硬膜外自家血注入

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・透析液水質確保加算2	・経皮的中隔心筋焼灼術
・下肢末梢動脈疾患指導管理加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・手術用顕微鏡加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・う蝕歯無痛の窩洞形成加算	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術
・CAD/CAM冠	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・手術時歯根面レーザー応用加算	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・歯科技工加算1及び2	・補助人工心臓
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・体外衝撃波胆石破碎術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・生体部分肝移植術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種死体肝移植術
・羊膜移植術	・体外衝撃波膀胱石破碎術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
・網膜再建術	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術、植込型骨導補聴器交換術及び人工中耳用材料	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・同種死体腎移植術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭・乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・生体腎移植術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・膀胱水圧拡張術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工尿道括約筋植込・置換術	
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	
・胎児胸腔・羊水腔シヤント術	
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	
・輸血管理料 I	
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・胃瘻造設時嚙下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・歯根端切除手術の注3	
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・定位放射線治療	
・病理診断管理加算2	
・口腔病理診断管理加算1	
・クラウン・ブリッジ維持管理料	
・歯科矯正診断料	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	・
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

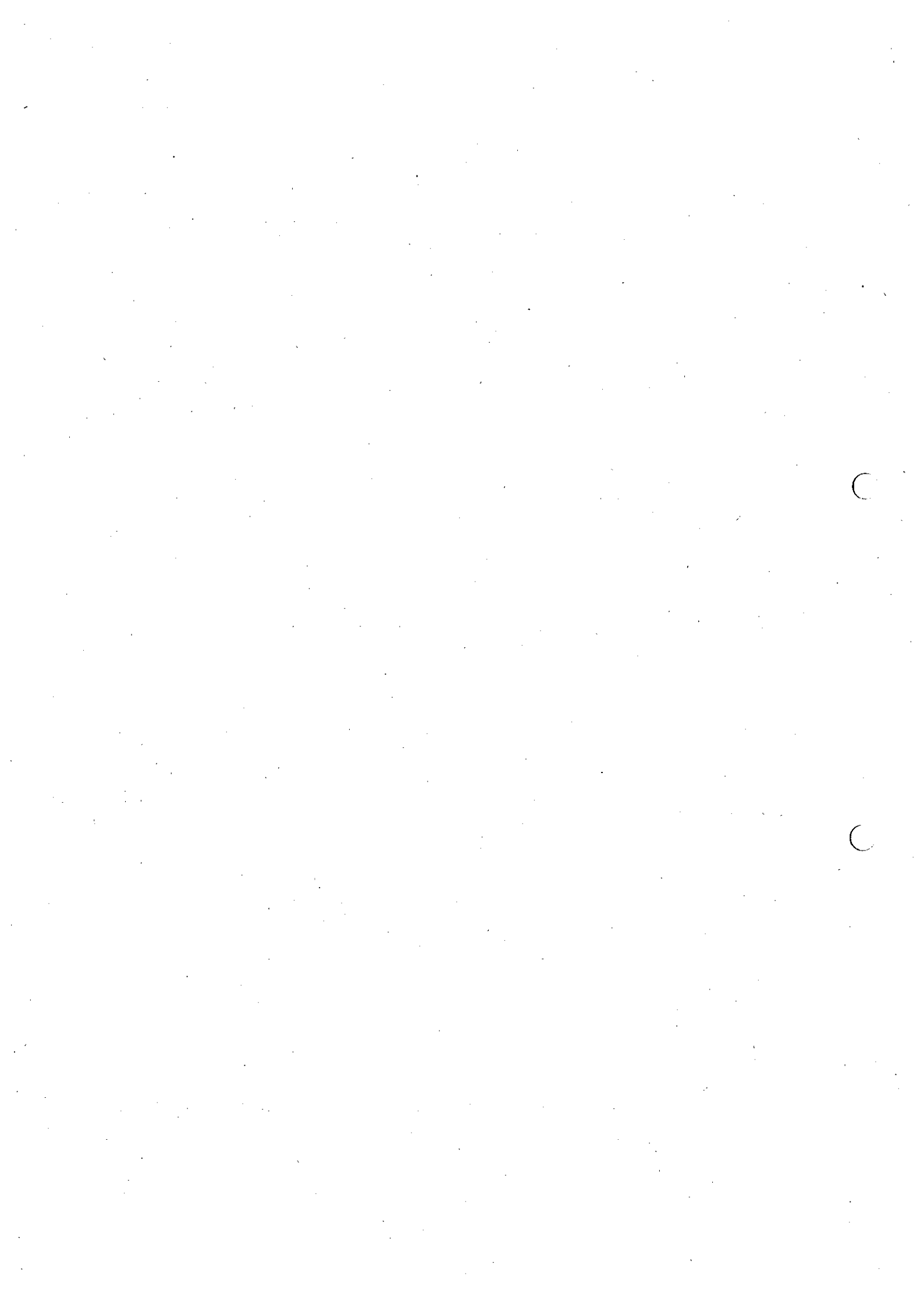
(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床部門と病理部との症例検討会:年間約80回
剖検の状況	剖検症例数 37 例 / 剖検率 12 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。



(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
中枢神経コネクトームを介した新規嚥下障害治療法の開発	山脇 正永	総合診療部	1,299,664	補○ 委 文部科学省
Automatic imitationによる摂食嚥下リハビリテーション法の開発	松田 剛	総合診療部	1,430,000	補○ 委 文部科学省
装着型嚥下計測技術に基づく摂食・嚥下支援ネットワーク形成への応用／在宅医療現場での嚥下能力の平均的な経時的変化の把握	山脇 正永	総合診療部	800,000	補 委○ 国立大学法人筑波大学
高速高精度な選択反応モニタリング定量的質量分析法による大腸癌先制医療の確立	内藤 裕二	消化器内科	7,800,000	補○ 委 文部科学省
免疫チェックポイント阻害剤を利用した新規免疫細胞療法の開発	石川 剛	消化器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
HBV組み込みが肝発癌に果たす役割	南 祐仁	消化器内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
粘膜治癒を目指したIBD治療におけるWnt5aペプチドの有用性に関する検討	内山 和彦	消化器内科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
唾液による、実用的なH. pyloriの診断・抗生剤感受性試験の開発	半田 修	消化器内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
DNAメチル化とマイクロRNAの統合的エピゲノム解析による肝細胞癌の病態解明	安居 幸一郎	消化器内科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
熱ショック蛋白Apg-2の肝脂肪化と肝発癌誘導機序の解析	伊藤 義人	消化器内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
炎症性腸疾患に対する局所制御型一酸化炭素遊離薬の開発	高木 智久	消化器内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
肝細胞プロファイリングに基づくヒト慢性肝不全の病態解明と新規治療法の確立	西川 太一朗	消化器内科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
脂肪肝におけるHSP110ファミリーの脂質、糖代謝制御機構の解明	山口 寛二	消化器内科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
タイトジャンクションを標的としたアスピリン起因性小腸粘膜傷害の予防・治療薬の開発	福居 顕文	消化器内科	1,463,643	補○ 委 文部科学省
食道扁平上皮癌の増幅遺伝子SOX2のmiRNA発現制御を介した発癌促進機構の解明	玄 泰行	消化器内科	814,651	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
肝癌の発生・進展における多機能分子p62の役割	榎村 敦詩	消化器内科	1,560,000	補委	文部科学省
二国間における消化管悪性腫瘍の変化する傾向および違い	内藤 裕二	消化器内科	960,000	補委	日本学術振興会
機能性農林水産物・食品による脳機能活性化に着目した科学的エビデンスの獲得及び次世代機能性農林水産物・食品の開発	鎌田 和浩	消化器内科	2,400,000	補委	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術
C型慢性肝炎・肝硬変治療前HCV NS3/4、NS5A、NS5B領域の変異検出と治療効果との関連及び無効例における耐性ウイルスの検討	伊藤 義人	消化器内科	1,153,847	補委	国家公務員共済組合連合会虎の門病院
CHP/NY-ESO-1ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした前期第II相臨床試験	石川 剛	消化器内科	3,500,000	補委	国立大学法人三重大学
腸内環境の包括的解析による抗炎症・抗肥満機能性糖鎖の開発	東村 泰希	消化器内科	1,307,693	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
機能性ディスぺプシア患者における十二指腸粘膜内tight junction関連蛋白質の発現ならびに知覚神経受容体発現の解析	福居 顕文	消化器内科	1,000,000	補委	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
新規ミトコンドリア蛋白による心筋アミノ酸代謝制御の解明と心不全治療への応用	的場 聖明	循環器内科	1,430,000	補委	文部科学省
うつ病モデルマウスにおける骨髄単球系細胞の動態制御を標的とした動脈硬化予防戦略	山田 浩之	循環器内科	910,000	補委	文部科学省
老化に伴う循環器疾患におけるCavinファミリーの作用機構の解明	上山 知己	循環器内科	780,000	補委	文部科学省
高脂肪食摂取母体由来胎児造血系細胞の動態変化を標的とした生活習慣病先制医療の開発	若菜 紀之	循環器内科	1,170,000	補委	文部科学省
Caveolin-Cavinシステムの機能解析による肺高血圧症発症機序の解明	中西 直彦	循環器内科	1,950,000	補委	文部科学省
慢性心不全患者に対する多職種介入を伴う外来・在宅心臓リハビリテーションの臨床的効果と医療経済的効果を調べる研究	白石 裕一	循環器内科	300,000	補委	国立大学法人東京医科歯科大学
CRISPR/Cas9システムを用いた成体腎臓での後天的遺伝子改変法の確立	草場 哲郎	腎臓内科	2,470,000	補委	文部科学省
CKD疫学調査	玉垣 圭一	腎臓内科	769,231	補委	国立大学法人筑波大学

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
肺癌治療における免疫チェックポイント阻害剤のバイオマーカー探索	高山 浩一	呼吸器内科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
悪性腫瘍に伴う悪液質の標準治療の確立	高山 浩一	呼吸器内科	4,500,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
アンドロゲン低下によるサルコペニア惹起機構の解明	福井 道明	内分泌・糖尿病・代謝内科	3,380,000	補○ 委	文部科学省
制御性T細胞の強化による非アルコール性脂肪肝炎制御の実現とその免疫学的機構の解明	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	408,818	補○ 委	文部科学省
男性におけるテストステロン低下による非アルコール性脂肪肝炎発症機構の解明	千丸 貴史	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,730,000	補○ 委	文部科学省
網羅的自己抗体アレイにより検出された2型糖尿病における膵島廃絶予測新規自己抗体定量用ELISAの開発	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	85,557	補 委○	国立研究開発法人 科学技術振興機構
PDK1制御による多発性骨髄腫の疾患形成分子異常と腫瘍環境支持の包括的制御	黒田 純也	血液内科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
難治性リンパ腫におけるMYC、PVT1再構成・発現の解析と臨床応用	谷脇 雅史	血液内科	2,860,000	補○ 委	文部科学省
CDKN2A/2B遺伝子欠失を伴う難治性B細胞性リンパ腫に対する診断・治療開発	知念 良顕	血液内科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
リンパ系腫瘍・多発性骨髄に対する標準的治療確立のためのたし多施設共同研究	黒田 純也	血液内科	300,000	補 委○	国立研究開発法人 国立がん医療研究センター
骨代謝におけるスフィンゴシン1リン酸レセプター3(S1P3)の働き	河野 正孝	膠原病・リウマチ・アレルギ科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
肺線維症の病因におけるAIF-1の役割の解明と治療法の開発	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギ科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
男性におけるテストステロン低下による非アルコール性脂肪肝炎発症機構の解明	千丸 貴史	膠原病・リウマチ・アレルギ科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
マスト細胞のフェノティピック・コンヴァージョンと慢性脂肪炎症を繋ぐ分子シグナル	藤岡 数記	膠原病・リウマチ・アレルギ科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
αシヌクレインの脂質関連代謝の解明とそれに注目した新しいパーキンソン病治療戦略	笠井 高士	神経内科(老年内科)	1,430,000	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
側頭葉てんかんの表情認知機能のメカニズムの解明-てんかん患者の社会生活	田中 章浩	神経内科(老年内科)	2,600,000	補○ 委	文部科学省
成人期発症脳白質疾患の遺伝学的病態解明研究	吉田 誠克	神経内科(老年内科)	2,730,000	補○ 委	文部科学省
モデルショウジョウバエを用いたALSの分子病態の解明と新規標的治療薬の開発	東 裕美子	神経内科(老年内科)	1,950,000	補○ 委	文部科学省
多発性硬化症における疾患修飾薬選択のためのバイオマーカの検討	藤井 ちひろ	神経内科(老年内科)	2,470,000	補○ 委	文部科学省
transendocytosis障害による脳小血管病発症機序の解明と治療法開発	水野 敏樹	神経内科(老年内科)	2,230,385	補○ 委	文部科学省
ヒトNotch3遺伝子導入ショウジョウバエを用いた脳小血管病の研究	水田 依久子	神経内科(老年内科)	2,115,626	補○ 委	文部科学省
筋疾患の診断・病態評価へのアミロイド・タウイメージングの新規応用	能登 祐一	神経内科(老年内科)	911,713	補○ 委	文部科学省
「アミロイドβ—の毒性廃座倫理を基盤としたアルツハイマー病の新しい予防戦略」	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	3,193,830	補○ 委	文部科学省
「パーキンソン病の神経障害性α-シヌクレインオリゴマーの同定と分子標的治療への応用」	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	2,000,000	補○ 委	文部科学省
基盤研究(C) 課題番号 15K09320	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	100,000	補○ 委	文部科学省
Aβオリゴマー化動態検出センサの構築	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	280,000	補○ 委	文部科学省
医師のジェンダーの関与と、診療対話の視線と脳活動にみる、新しい医療交渉学の開発	近藤 正樹	神経内科(老年内科)	280,001	補○ 委	文部科学省
わが国で発見されたTFG遺伝子異常による運動ニューロン病の海外学術調査と病態解明	中川 正法	神経内科(老年内科)	5,120,000	補○ 委	文部科学省
Charcot-Marie-Tooth病分子病態解析と治療薬探索	中川 正法	神経内科(老年内科)	260,000	補○ 委	文部科学省
パーキンソン病の代謝物産のバイオマーカー創出およびその分子標的機構に基づく創薬シーズ同定	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	1,460,000	補○ 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
パーキンソン病の代謝物産のバイオマーカー創出およびその分子標的機構に基づく創薬シーズ同定	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	3,000,000	補委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
循環器疾患患者を対象とした在宅ヘルスケア・システムの研究開発	水野 敏樹	神経内科(老年内科)	723,600	補委○	近畿総合通信局
重度嗅覚障害を呈するパーキンソン病を対象としたドネペジルの予後改善効果に関する研究	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	461,539	補委○	独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院
進行性核上性麻痺及び類縁疾患を対象とした多施設共同コホート研究によるバイオマーカー開発と自然歴の解明	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	400,000	補委○	国立大学法人新潟大学
脳脊髄石注腸・骨髄疾患の歩行障害に対する生体電位駆動型下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)を用いた新たな治療実用化のための多施設共同医師主導治験の実施研究	中川 正法	神経内科(老年内科)	1,400,000	補委○	独立行政法人国立病院機構新潟病院
HAMの革新的な医薬品等の開発促進に関する研究	中川 正法	神経内科(老年内科)	500,000	補委○	学校法人聖マリアンナ医科大学
HAMに対する日本発の革新的治療となる抗CCR3抗体の実用化研究	中川 正法	神経内科(老年内科)	2,300,000	補委○	学校法人聖マリアンナ医科大学
プリオノイド蛋白質の凝集・伝播を標的とした神経コンフォメーション病の病態解明・治療法開発	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	4,200,000	補委○	国立大学法人大阪大学
遺伝性脳小血管病CADASILのデータベース構築と運用	水野 敏樹	神経内科(老年内科)	769,231	補委○	国立大学法人三重大学
神経筋疾患の原因究明および革新的治療法開発に関する研究	水野 敏樹	神経内科(老年内科)	1,000,000	補委○	国立大学法人鹿児島大学
急性大動脈解離に合併する脳梗塞の診療指針検討	尾原 知行	神経内科(老年内科)	500,000	補委○	国立研究開発法人循環器病研究センター
アルツハイマー病の既存脳液バイオマーカーの血液および脳由来エクソソームへの展開とそれらを用いた多項目血液マーカーによる診断システムの実用化	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	8,961,539	補委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
消化器癌の分泌型exosomeを介した新たな癌の進展機序の解明と実地臨床への応用	大辻 英吾	消化器外科	2,600,000	補委○	文部科学省
胃癌腹膜播種性転移に対する低浸透圧併用による抗癌剤腹腔内投与効果増強の試み	塩崎 敦	消化器外科	1,820,000	補委○	文部科学省
胃癌腹膜播種関連分泌型microRNAの同定と進展機構の解明	市川 大輔	消化器外科	650,000	補委○	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
末梢血を用いた液体生検としての胃癌HER2遺伝子増幅解析法の開発	岡本 和真	消化器外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
分泌型癌抑制microRNAを用いた消化器癌の抗癌剤感受性予測と核酸治療法の開発	小松 周平	消化器外科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
膵癌の新規スクリーニング法ならびに再発診断法の開発	村山 康利	消化器外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
胃癌の新しい癌抑制遺伝子RUNX3の細胞分化・癌化機構の解明と診断・診断への応用	阪倉 長平	消化器外科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
温熱刺激によるアクアポリン制御を介した胃癌低浸透圧細胞破壊増強機構の解明	小菅 敏幸	消化器外科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
癌幹細胞特異的に発現するクロライドイオン輸送体を標的とした食道癌新規治療法の開発	石本 武史	消化器外科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
血漿中のmiRNAを指標とした新規膵癌リンパ節転移診断法の開発	森村 玲	消化器外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
胃癌における血球由来exosomeを介した新たな癌の進展機序の解明と臨床への応用	有田 智洋	消化器外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
環状RNAによるびまん性胃癌の悪性形質獲得とその分子機構の解明	庄田 勝俊	消化器外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
5-アミノレブリン酸(5-ALA)とランタニドナノ粒子(LNP)併用による深部微小癌局在診断技術の構築	大辻 英吾	消化器外科	12,010,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
食道亜全摘術を行う食道癌患者における急性肺合併症に対するOSK-0028の有効性及び安全性の検討(第II相試験)	大辻 英吾	消化器外科	307,693	補 委○	国立大学法人大阪大学
食道癌におけるオートファジーの役割の解明と新たな治療体系の開発	藤原 斉	消化器外科 (薬物応用腫瘍外科学講座)	1,560,000	補○ 委	文部科学省
食道癌に対するGSTP1タンパク発現を指標とした新規個別化治療法の開発	小西 博貴	消化器外科 (薬物応用腫瘍外科学講座)	1,950,000	補○ 委	文部科学省
生体内組織形成技術を用い人工物を使用せずに作成する循環器領域への代用組織の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	5,647,633	補○ 委	文部科学省
臨床応用を想定した“自己体内再生型”結合組織代用血管バイオチューブの多角的展開	神田 圭一	心臓血管外科	5,590,000	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
自家生体組織膜で被覆したstent Biocovered stentの開発	坂井 修	心臓血管外科	1,949,321	補○ 委	文部科学省
血流解析を組み込んだ循環器診断システムの開発と次世代の予測医療の樹立	宮崎 翔平	心臓血管外科	2,066,498	補○ 委	文部科学省
不活性ガス再呼吸法による非侵襲的心拍出量計測法：開心術後リハビリへの応用	土井 潔	心臓血管外科	260,000	補○ 委	文部科学省
異種動物体内で自在に作製でき緊急手術にも対応可能な自己再生型小口径代用血管の開発	山南 将志	心臓血管外科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
先天性心疾患の外科治療における自己結合組織による肺動脈形成素材の開発	前田 吉宣	心臓血管外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
単離ミトコンドリア移植法の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
異種チューブ・マトリックスを足場に患者体内で再生する動脈グラフトの開発	神田 圭一	心臓血管外科	2,910,730	補○ 委	文部科学省
Non-coding RNA Y1のiPSリプログラミングにおける役割の解明	五條 理志	心臓血管外科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
心筋分化誘導に関連するlncRNAの探索と解析	上 大介	心臓血管外科	910,000	補○ 委	文部科学省
DIY再生医療を用いて『患者体内で作る』CABG用バイオチューブ代用血管の開発	神田 圭一	心臓血管外科	1,280,688	補○ 委	文部科学省
遠隔期心機能予後を向上させる心臓血管手術を行うための、血流解析システムの構築	板谷 慶一	心臓血管外科	469,095	補○ 委	文部科学省
間葉系幹細胞の凝集体導入によるバイオチューブ代用血管移植後の血管壁再構築化促進	山南 将志	心臓血管外科	1,070,656	補○ 委	文部科学省
立体造形による機能的な生体組織製造技術の開発／細胞を用いた機能的な立体組織作製技術の研究開発／バイオ3Dプリンタで造形した小口径 Scaffold free細胞人工血管の臨床開発	五條 理志	心臓血管外科	43,056,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
循環器疾患患者を対象とした在宅ヘルスケア・システムの研究開発	夜久 均	心臓血管外科	364,167	補 委○	近畿総合通信局
自己心膜製ステントレス僧帽弁置換術の安全性と効果に関する研究	夜久 均	心臓血管外科	149,020	補 委○	公益財団法人日本 心臓血圧研究振興 会付属榊原記念病 院

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
反転授業の呼吸器外科学臨床教育への導入と学習効果の検討	伊藤 和弘	呼吸器外科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
悪性胸腺上皮性腫瘍のPD1/PDL1作用に関する病態解明と新たな免疫療法の開発	井上 匡美	呼吸器外科	2,210,000	補○ 委	文部科学省
ラットを用いた開胸癒着モデルでの低用量アスピリンによる胸膜癒着抑制の機序の解明	石原 駿太	呼吸器外科	2,243,804	補○ 委	文部科学省
肺癌のパクリタキセル耐性に関わる関連タンパク質の同定とその機能解明	下村 雅律	呼吸器外科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
エタノール放出発熱ポリマーによる微小スリガラス状肺癌の局所硬化治療法の基礎的検討	島田 順一	呼吸器外科	1,076,764	補○ 委	文部科学省
PPAR-gamma活性化による新たな肺癌分子標的療法の開発	井上 匡美	呼吸器外科	613,013	補○ 委	文部科学省
臓器移植後成績向上のための、脳死臓器提供におけるドナー評価・管理システム・ガイドラインの作成	井上 匡美	呼吸器外科	275,393	補 委○	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
内分泌療法耐性乳癌におけるエストロゲン付加および枯渇療法の治療効果予測因子の検索	大本 陽子	内分泌・乳腺 外科学	1,260,513	補○ 委	文部科学省
化学療法による皮膚障害に対する高濃度水素水の有用性に関する研究	田口 哲也	内分泌・乳腺 外科学	1,300,000	補○ 委	文部科学省
5-ALAによる新しいセンチネルリンパ節転移・断端診断法の開発	阪口 晃一	内分泌・乳腺 外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
化学療法による皮膚障害に対する高濃度水素水の有用性に関する研究	田口 哲也	内分泌・乳腺 外科	1,104,706	補○ 委	文部科学省
胸腺若年再生による前臨床大動物での免疫寛容誘導新戦略：宿主骨髄と胸腺外因子の役割	昇 修治	移植・一般外科	4,290,000	補○ 委	文部科学省
腎移植後再発性IgA腎症に対する扁桃腺摘出の有効性に関する研究	吉村 了男	移植・一般外科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
CD8+/CD122+制御性T細胞による臓器移植免疫寛容誘導に関する研究	中村 緑佐	移植・一般外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
低出力超音波パルスによる腎尿細管細胞再生促進法の開発	牛込 秀隆	移植・一般外科	1,953,009	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
末梢神経損傷に対する細胞移植治療を目的とした新規シュワン細胞誘導法	素輪 善弘	形成外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
悪性グリオーマ幹細胞におけるWT1とALCAMの機能的役割と血管新生への関与	橋本 直哉	脳神経外科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
脳腫瘍患者の病状説明における芸術的アプローチの応用研究	古野 優一	脳神経外科	910,000	補○ 委	文部科学省
iPS細胞に対してバイオリクターを用いた新しい硝子様軟骨再生法の開発	久保 俊一	整形外科	5,588,207	補○ 委	文部科学省
肉腫に対する熱ストレス蛋白抑制技術を用いた断端処理方法の開発	寺内 竜	整形外科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
関節軟骨二重造影法の確立—MRIによる軟骨初期変性の可視化を目指して—	生駒 和也	整形外科	1,009,217	補○ 委	文部科学省
足部・足関節変形における新しい画像解析法の確立—足部疾患の病態解明を目指して—	徳永 大作	整形外科	3,045,438	補○ 委	文部科学省
骨折修復と体内時計の包括的研究	藤原 浩芳	整形外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
CD81を標的とした新規抗がん薬の開発	白井 寿治	整形外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
指電極の開発—神経合併症の軽減を目指して—	細井 邦彦	整形外科	1,524,784	補○ 委	文部科学省
骨粗鬆症性椎体骨折に対する自己多血小板血漿を用いた椎体形成術の開発	長江 将輝	整形外科	1,537,836	補○ 委	文部科学省
超高純度生体内吸収性固定材料の開発	岡 佳伸	整形外科	369,747	補○ 委	文部科学省
MRIを用いた骨質評価法の開発—骨質を画像化する—	堀井 基行	整形外科	1,208,825	補○ 委	文部科学省
connexin43を分子標的とした関節リウマチに対する創薬基盤の構築	土田 真嗣	整形外科	508,035	補○ 委	文部科学省
足部疾患に対する有限要素法の応用—新しい装具療法の開発—	今井 寛	整形外科	1,872,534	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
膜型エストロゲン受容体GPR30を用いた末梢神経における髄鞘形成活性化機構の解明	森崎 真介	整形外科	-85,241	補○ 委 文部科学省
脳fMRIを用いた腰部脊柱管狭窄症による痛みの可視化へ向けた基礎研究	水野 健太郎	整形外科	2,256,294	補○ 委 文部科学省
ステロイド性骨壊死予防の臨床応用可能な条件の確立-高磁場MRIの定量評価を用いて	石田 雅史	整形外科	1,280,914	補○ 委 文部科学省
H0-1を用いた細胞ストレス耐性の増強による特発性大腿骨頭壊死症予防法の開発	齊藤 正純	整形外科	1,144,659	補○ 委 文部科学省
前十字靭帯再建後の靭帯リモデリングに基づく客観的なりハビリテーション指標の確立	中川 周士	整形外科	1,217,634	補○ 委 文部科学省
多血小板血漿および徐放担体を用いた前十字靭帯再建術の次世代治療戦略	井上 裕章	整形外科	1,069,495	補○ 委 文部科学省
脊髄functional MRIを用いた疼痛の定量評価法の確立	小田 良	整形外科	622,460	補○ 委 文部科学省
ダイレクト・リプログラミング法で作成した骨芽細胞移植による骨癒合促進方法の開発	谷口 大吾	整形外科	1,691,364	補○ 委 文部科学省 (小原確認中)
転移性骨腫瘍に対する局所制御と骨形成促進を目的とした非手術的新規治療法の開発	村田 博昭	整形外科	1,405,311	補○ 委 文部科学省
容量電場刺激を用いた新たな骨粗鬆症治療法の開発	吉田 隆司	整形外科	608,853	補○ 委 文部科学省
生理的低酸素環境の再現による軟骨細胞のストレス応答機構の究明	新井 祐志	整形外科	1,298,013	補○ 委 文部科学省
HIF-1 α をターゲットとした新しいOA治療法の開発	久保 俊一	整形外科	1,847,572	補○ 委 文部科学省
光触媒と電磁波を併用した異物関連感染症の制圧	金 郁喆	整形外科	1,770,598	補○ 委 文部科学省
成長軟骨板損傷に対するMRIを用いた画像評価法と成長軟骨再生医療の開発	岡 佳伸	整形外科	1,053,052	補○ 委 文部科学省
癒痕治療に依存しない積極的筋損傷治療法の開発 -線維芽細胞阻害に着目して-	中川 周士	整形外科	285,498	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
細胞間コミュニケーションの制御を軸とした関節リウマチの新たな治療戦略	土田 真嗣	整形外科	283,445	補○ 委	文部科学省
子宮内膜症の病態に潜在性子宮内感染と子宮内膜炎が及ぼす影響に関する研究	カーン カレク	産婦人科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
子宮内膜症のエストロゲン関連受容体を介した増殖機構解明と新規分子標的治療の提案	北脇 城	産婦人科	780,000	補○ 委	文部科学省
エストロゲン関連受容体を標的とする新たな子宮体癌内分泌療法の開発	森 泰輔	産婦人科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
子宮体癌の新規内分泌療法を目的としたエストロゲン関連受容体のリガンド同定	松島 洋	産婦人科	1,500,000	補○ 委	文部科学省
動脈硬化リスクを軽減する新規ホルモン補充療法確立のための基礎的エビデンスの構築	伊藤 文武	産婦人科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
アスリートに対するOC/LEP使用の啓発活動	北脇 城	産婦人科	692,308	補 委○	国立大学法人東京大学
Estrogen related receptorの病態への意義と分子標的治療	北脇 城	産婦人科	1,230,770	補 委○	国立大学法人東京大学
角膜内皮細胞亜集団間コミュニケーションによる相転移制御の分子実態解明	木下 茂	眼科	3,120,000	補○ 委	文部科学省
SJS/TENの発症機序ならびに病態解明に向けた戦略的研究	外園 千恵	眼科	6,500,000	補○ 委	文部科学省
眼瞼手術が自発性瞬目と涙液量に及ぼす影響の解明と機能性流涙の新しい術式の開発	渡辺 彰英	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
原発開放隅角緑内障における視野障害パターン別全ゲノム解析	池田 陽子	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
エキソーム解析と細胞形質評価によるフックス角膜内皮ジストロフィの病因と病態の解明	上野 盛夫	眼科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
再生医療による眼表面粘膜バリアーの再構築と重症瘢痕性疾患への応用	稲富 勉	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
細胞系譜解析を用いた角膜上皮幹細胞の恒常性維持機構の解明	中村 隆宏	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
油層動態に基づく涙液層の形成・破壊の分子メカニズムの解明とその臨床応用	横井 則彦	眼科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
マイボーム腺脂質、常在細菌叢、性ホルモンの関係する眼表面疾患の病態解明	鈴木 智	眼科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
RSP01を用いた角膜再生医療の基盤技術開発	永田 真帆	眼科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
IKZF1による眼表面炎症制御機構の解明ならびに新規抗炎症治療薬への応用	上田 真由美	眼科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
エネルギー応答を指標とする角膜内皮障害の創薬標的と早期診断基盤技術の開発	外園 千恵	眼科	650,000	補○ 委	文部科学省
網膜色素上皮細胞の放出する細胞外微粒子による網膜下炎症環境の破綻	羽室 淳爾	眼科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
遺伝子多型間相互作用解析による難治性眼表面疾患発症予測システム開発の先駆的研究	木下 茂	眼科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
メラニン関連自発蛍光を用いた非侵襲的眼底イメージング手法の開発	山岸 哲哉	眼科	130,000	補○ 委	文部科学省
内視鏡を用いた上脈絡膜腔アプローチによる眼科手術の開発	小嶋 健太郎	眼科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
角膜内皮分化課程解明とそれに基づくヒトES/iPS細胞から角膜内皮細胞の分化誘導	中井 義典	眼科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
角膜上皮細胞の特異性を規定している転写因子の機能解析と相互作用の解明	北澤 耕司	眼科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
加齢黄斑変性における網膜色素上皮のエピジェネティックな制御と正常化	畑中 宏樹	眼科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
角膜移植長期予後予測因子の開発	丸山 悠子	眼科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
膠様滴状角膜ジストロフィにおけるタイトジャンクション構成機構の解明	中司 美奈	眼科	1,048,576	補○ 委	文部科学省
感冒薬による重症薬疹発症に関わる遺伝素因の同定並びに病態の解明	上田 真由美	眼科	22,000,000	補○ 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
Stevens-Johnson症候群慢性期の診断基準・実態調査と治療法の確立	外園 千恵	眼科	4,600,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
再生医療等の産業化に向けた評価手法等の開発	木下 茂	眼科	40,136,364	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性筋疾患に対する細胞移植治療法の開発	佐藤 貴彦	眼科	1,153,847	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性角結膜疾患に対する培養自家口腔粘膜上皮シート移植	外園 千恵	眼科	19,612,039	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	木下 茂	眼科	51,931,331	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
視機能が高齢者の身体機能に与える影響および予防・治療法の標準化に関する研究	外園 千恵	眼科	5,100,000	補委○	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
培養角膜内皮細胞を用いた水疱性角膜症に対する革新的再生医療の早期薬事承認による社会還元	木下 茂	眼科	65,520,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
筋萎縮の病態に迫るミトコンドリアのメカノバイオロジー	佐藤 貴彦	眼科	11,700,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
多職種協働による地域包括ロービジョンケアシステム開発に関する研究	外園 千恵	眼科	346,154	補委○	国立大学法人東北大学
概日リズムの変化がアレルギー疾患の発症と難治化におよぼす影響の分子機構の解明	加藤 則人	皮膚科	1,560,000	補委○	文部科学省
アトピー性皮膚炎におけるToll様受容体の役割の解明とそれに基づく新治療法の開発	峠岡 理沙	皮膚科	1,560,000	補委○	文部科学省
腫瘍特異的リンパ球をドラッグキャリアに用いた皮膚悪性腫瘍に対する新規治療法の開発	浅井 純	皮膚科	1,560,000	補委○	文部科学省
Toll様受容体3が即時型アレルギーにおいて果たす役割と分子機構の解明	中村 直美	皮膚科	1,950,000	補委○	文部科学省
血管肉腫に対するPI3K経路阻害剤とエピジェネティクス制御化合物の併用効果の検討	和田 誠	皮膚科	1,950,000	補委○	文部科学省
アトピー性皮膚炎の診療の均てん化のための大規模疫学調査と診療ガイドライン・連携資料の作成	加藤 則人	皮膚科	2,000,000	補委○	厚生労働省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性膀胱上皮内癌に対する新規治療法としての $\gamma\delta$ T細胞膀胱内注入療法の開発	中西 弘之	泌尿器科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
3次元解剖情報に2次元リアルタイム超音波を同期させた穿刺ナビゲーションの開発	山田 恭弘	泌尿器科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
膀胱上皮内癌に対する光学的治療を目的とした複合型光ファイバーの開発	大石 正勝	泌尿器科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
アンドロゲン作用低下を介した精巣腫瘍増悪メカニズムの解明	上田 崇	泌尿器科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
前立腺癌細胞浸潤を促進する新規細胞膜結合型タンパク分解制御因子に関する研究	上田 紗弥	泌尿器科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
がん標的化低侵襲治療開発研究	浮村 理	泌尿器科	10,000,000	補○ 委 公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院
蝸牛感覚上皮の組織構築とバリア機能－頂側結合の役割に関して－	坂口 博史	耳鼻咽喉科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
頭頸部扁平上皮癌に対する免疫遺伝子治療と分子標的薬併用治療についての検討	中野 宏	耳鼻咽喉科	910,000	補○ 委 文部科学省
気道防御機構としての下咽頭・喉頭の機能解剖学的研究	板東 秀樹	耳鼻咽喉科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
脱細胞喉頭土台を用いた喉頭全摘後の喉頭再生に関する研究	平野 滋	耳鼻咽喉科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
咽喉頭電気刺激による嚥下および呼吸中枢の協調性の改善に関する研究	杉山 庸一郎	耳鼻咽喉科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
Opitz G/BBB症候群（全身の正中部に生じる形成不全症）の病態解明に向けて	中村 高志	耳鼻咽喉科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
強迫性障害における主観的時間とその生物学的基盤	酒井 雄希	精神科・心療内科	3,900,000	補○ 委 文部科学省
インターネット依存の強迫性に注目した神経画像研究	福居 顯二	精神科・心療内科	650,000	補○ 委 文部科学省
85歳以上の超高齢者を対象とした簡便な認知機能スクリーニング検査法の開発	加藤 佑佳	精神科・心療内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
うつ病を伴う強迫性障害に対する経頭蓋磁気刺激法の神経画像研究	中前 貴	精神科・心療内科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
地域に根差したがん患者の精神的サポートシステムの開発	羽多野 裕	精神科・心療内科	44,928	補○ 委	文部科学省
高齢者の安全で自律的な経済活動を見守る社会的ネットワークの構築	成本 迅	精神科・心療内科	8,862,055	補 委○	国立研究開発法人 科学技術振興機構
拠点名：真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点	成本 迅	精神科・心療内科	26,919,000	補 委○	国立研究開発法人 科学技術振興機構
高齢者の意思決定を支える能力評価と支援方法に関する心理職のためのEラーニング教育プログラムの開発	加藤 佑佳	精神科・心療内科	1,000,000	補 委○	京都市
脳機能補完による高齢者・障がい者の機能回復支援技術の研究開発	松岡 照之	精神科・心療内科	5,684,440	補 委○	国立研究開発法人 情報通信研究機構
前立腺肥大症に対する経皮的凍結療法：隣接臓器と周囲組織への影響の検討	田中 治	放射線科	520,000	補○ 委	文部科学省
肺スリガラス結節に対する媒体注入下凍結療法の基礎的研究	三浦 寛司	放射線科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
胎児機能不全におけるIVIM-DWIを用いた新しい胎児臓器血流評価法の検討	山田 香織 (西田香織)	放射線科	650,000	補○ 委	文部科学省
フラットニングフィルターフリービームの基本物理線量特性に関する研究	尾方 俊至	放射線科	653,313	補○ 委	文部科学省
乳房ダイナミックMRI・早期造影動態解析を用いた新規乳腺病変評価法の構築	後藤 真理子	放射線科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
NBCA血管塞栓術におけるNBCA専用調整剤の開発	林 奈津子	放射線科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
前立腺肥大症に対する経皮的凍結療法：隣接臓器と周囲組織への影響の検討	田中 治	放射線科	2,600,021	補○ 委	文部科学省
肺スリガラス結節に対する媒体注入下凍結療法の基礎的研究	三浦 寛司	放射線科	2,389,385	補○ 委	文部科学省
胎児機能不全におけるIVIM-DWIを用いた新しい胎児臓器血流評価法の検討	山田 香織 (西田香織)	放射線科	1,842,884	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
腎肺クロストークを介した人工呼吸器誘発性腎障害のメカニズム解明	橋本 悟	麻酔科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
インフラマソームによる神経炎症を標的とした慢性痛の新規治療戦略	天谷 文昌	麻酔科	5,070,000	補○ 委	文部科学省
緑膿菌PcrV-CpG(K3)-SPGワクチンの開発と前臨床試験	佐和 貞治	麻酔科	5,720,000	補○ 委	文部科学省
周術期抗血小板薬薬効モニタリングのための血小板由来microRNA発現解析の検討	中山 力恒	麻酔科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
脳波ポワンカレプロットのヒステリシス解析を用いた即応的麻酔深度推定法の開発	林 和子	麻酔科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
microRNAによる急性腎障害発症機序の解明と、早期診断バイオマーカーへの応用	影山 京子	麻酔科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
多種画像診断モダリティを用いた血流とエネルギー損失解析による周術期治療戦略検討	石井 真紀	麻酔科	4,160,000	補○ 委	文部科学省
脾臓由来M1型及びM2型単球系細胞を介した神経障害性疼痛発症のメカニズム解明	柴崎 雅志	麻酔科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
急性腎障害に関与するmiRNA-ceRNAクロストークとバイオマーカーへの応用	徳平 夏子	麻酔科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
microRNAの網羅的発現解析法を用いた血小板機能低下の機序解明と抑制法の開発	前田 祥子	麻酔科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
新規経口抗凝固薬を対象とした、全血検体による薬効評価法の確立	小川 覚	麻酔科	2,860,000	補○ 委	文部科学省
オピオイドはTLR4を介して急性肺障害を増悪させるか？	松山 広樹	麻酔科	2,659,682	補○ 委	文部科学省
新規神経栄養因子MANFの小胞体ストレス軽減作用を介した神経障害性痛治療の可能性	天谷 文昌	麻酔科	1,279,079	補○ 委	文部科学省
単一ドメイン抗体によるグラム陰性菌Ⅲ型病原毒性の抑制探索	佐和 貞治	麻酔科	2,038,394	補○ 委	文部科学省
急性肺傷害に対するレゾルビン内包化陰性電荷リポソーム吸入療法の開発	田畑 雄一	麻酔科	2,900,000	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
in vitro神経傷害モデルを用いた神経障害性疼痛発症のメカニズム解析	細川 豊史	疼痛・緩和ケア科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
タキサン系抗癌剤による末梢神経障害性疼痛の予防・治療法の開発	上野 博司	疼痛・緩和ケア科	2,510,315	補○ 委	文部科学省
スーパーハイリスク神経芽腫における再発機構の解明	家原 知子	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
生育疾患克服等次世代生育基盤研究事業 神経芽腫マスキリング休止後の神経芽腫発生状況に関する研究	家原 知子	小児科	6,000,000	補○ 委	厚生労働省
非受容体型チロシンキナーゼPYK2を分子標的とする川崎病新規治療法の開発	中村 明宏	小児科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
冠動脈プロテオミクス解析による川崎病バイオマーカーの探索	河井 容子	小児科	910,000	補○ 委	文部科学省
小児肥満におけるFTO遺伝子多型と肥満形成速度の関連解析	中島 久和	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
褐色脂肪細胞を標的としたAng 1-7の肥満治療への探索	森 潤	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
てんかん性脳症の予後改善に向けた創薬基盤研究	千代延 友裕	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
Siglec-9による活性化好中球細胞死誘導の分子学的機序とその臨床的意義の検討	加納 原	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
血清、髄液中microRNAを用いた横紋筋肉腫新規治療戦略の開発	宮地 充	小児科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
小児がんにおける抗PD1抗体の臨床応用に向けた腫瘍免疫メカニズムの解明	土屋 邦彦	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
iPS細胞技術を用いたガンマグロブリン不応川崎病に対する新規治療標的分子の探索	池田 和幸	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
肺高血圧モデルにおける右心機能および心室間相互作用に対する心拍数抑制効果の検討	奥村 謙一	小児科	2,600,000	補○ 委	文部科学省
小児がんにおける地固め療法としてのペプチドワクチン療法の確立	細井 創	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
拡散テンソル画像を用いた極低出生体重児の治療評価と神経学的予後の検討	長谷川 龍志	小児科	650,000	補○ 委	文部科学省
ノン・ハイリスク群小児悪性固形腫瘍の安全性と治療後QOLの向上への新たな標準治療法開発のための多施設共同臨床研究	細井 創	小児科	9,678,647	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
小児がんに対するキメラ抗原受容体T細胞を用いた細胞製剤の開発	柳生 茂希	小児科	1,000,000	補 委○	京都市
川崎病の発症・増悪機序に関する実験的検討、臨床試験実施、治療法・予防法開発の協力	池田 和幸	小児科	384,616	補 委○	地方独立行政法人 福岡市立病院機構
横紋筋肉腫を対象としたWT1ペプチドワクチンの開発について	細井 創	小児科	2,428,159	補 委○	公益社団法人日本 医師会治験促進セ ンター
小児ALLにおける網羅的遺伝子解析研究による新規予後不良因子の同定と治療開始早期の層別化の検討	今村 俊彦	小児科	1,915,385	補 委○	独立行政法人国立 病院機構名古屋医 療センター
胞巣型横紋筋肉腫細胞における筋最終分化の誘導と治療法の開発	細井 創	小児科	2,800,000	補 委○	佐賀県医療セン ター好生館
悪性軟部腫瘍を対象としたWT1ペプチドワクチンの開発について (CGT-B-2801)	細井 創	小児科	3,279,617	補 委○	公益社団法人日本 医師会治験促進セ ンター
治療の実施に関する研究 [WT1ペプチドワクチン] (CGT-C-2851)	宮地 充	小児科	85,600	補 委○	公益社団法人日本 医師会
横隔膜全欠損に対する臍帯由来幹細胞を用いた横隔膜再生医療の開発	田尻 達郎	小児外科	900,000	補○ 委	文部科学省
神経芽腫に対するEngineered Stem Cellによる新規細胞療法の開発	田尻 達郎	小児外科	3,000,000	補○ 委	文部科学省
ヒルシュスブルグ病および類縁疾患における乳歯幹細胞による病因解明と新規治療開発	田尻 達郎	小児外科	200,000	補○ 委	文部科学省
中動物モデルを用いた横隔膜全欠損型ヘルニアに対する胎児治療の開発	古川 泰三	小児外科	1,700,000	補○ 委	文部科学省
難治性リンパ管腫に対する分子標的治療と光線力学療法を併用した新規低侵襲治療の開発	文野 誠久	小児外科	1,200,000	補○ 委	文部科学省
横隔膜全欠損に対する臍帯由来幹細胞を用いた横隔膜再生医療の開発	田尻 達郎	小児外科	900,000	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
先天性横隔膜ヘルニアモデルにおける胎児治療の開発	坂井 宏平	小児外科	500,000	補○ 委	文部科学省
小児呼吸器形成異常・低形成疾患に関する実態調査ならびに診療ガイドライン作成に関する研究	古川 泰三	小児外科	100,000	補○ 委	厚生労働省
小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	田尻 達郎	小児外科	1,000,000	補○ 委	厚生労働省
難治性小児悪性固形腫瘍における診断バイオマーカーの同定と新規治療法の開発に関する研究	田尻 達郎	小児外科	2,845,336	補 委○	国立大学法人広島大学
難治性リンパ管異常に対するシロリムス療法確立のための研究	田尻 達郎	小児外科	2,352,000	補 委○	国立大学法人岐阜大学
“なぜ遺伝子変異なしでがんができるか”その分子基盤解明と標的探索	田尻 達郎	小児外科	192,308	補 委○	埼玉県立がんセンター
ノン・ハイリスク群小児悪性固形腫瘍の安全性と治療後QOLの向上への新たな標準治療法開発のための多施設共同臨床研究	田尻 達郎	小児外科	2,950,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
レプリカおよび外科手術シミュレーションの評価	山岸 正明	小児心臓血管外科	307,693	補 委○	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
歯周病原細菌による菌血症モデルを用いた心血管系疾患の発症メカニズムの検討	藤野 あかね	歯科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
羊膜上培養歯髄由来細胞シートを用いた新規骨再生医療に関する研究	山本 俊郎	歯科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
口腔粘膜炎に対する予防・治療を目指したβ-クリプトキサンチンの検討	大迫 文重	歯科	1,559,999	補○ 委	文部科学省
骨再生医療のための新規羊膜上培養骨髄由来細胞シートの開発に関する研究	金村 成智	歯科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
羊膜の組織修復作用と骨再生能に着目した新規培養歯根膜由来細胞シートに関する研究	雨宮 傑	歯科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
歯髄疾患の治療を目指した神経分化誘導羊膜上歯髄由来細胞シートの作成	本城 賢一	歯科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
歯髄幹細胞由来エクソソームとナノゲルを併用した末梢神経障害の新規治療法の開発	足立 哲也	歯科	1,690,000	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
音楽および音声が救急蘇生法の質に与える影響に関する挑戦的萌芽研究	山畑 佳篤	救急医療科	932,584	補○ 委 文部科学省
HGF/c-Metシグナルを介した低酸素応答による椎間板恒常性維持機構の解析	三上 靖夫	リハビリテーション科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
独自の圧負荷装置を用いた椎間板細胞のオートファジー機構の解明と制御方法の確立	池田 巧	リハビリテーション科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
mTOR阻害による寿命延長効果を応用した新規椎間板再生法の確立	三上 靖夫	リハビリテーション科	111,669	補○ 委 文部科学省
検査法の開発	稲葉 亨	臨床検査部	76,924	補 委○ 国立大学法人大阪大学
腫瘍発生における多様なゲノム構造異常およびキメラ遺伝子形成の分子機構の解明	滝 智彦	遺伝子診療部	1,690,000	補○ 委 文部科学省
欠失型および複雑型染色体異常の評価法および診断法の開発	滝 智彦	遺伝子診療部	2,490,000	補 委○ 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
小児骨髄系腫瘍に対する標準的治療法の確立	滝 智彦	遺伝子診療部	500,000	補 委○ 国立大学法人京都大学

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主な
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
中枢神経コネクトームを介した新規嚥下障害治療法の開発	山脇 正永	総合診療部	1,299,664	補○ 委	文部科学省
Automatic imitationによる摂食嚥下リハビリテーション法の開発	松田 剛	総合診療部	1,430,000	補○ 委	文部科学省
装着型嚥下計測技術に基づく摂食・嚥下支援ネットワーク形成への応用/在宅医療現場での嚥下能力の平均的な経時的変化の把握	山脇 正永	総合診療部	800,000	補○ 委	国立大学法人筑波大学
高速高精度な選択反応モニタリング定量的質量分析法による大腸癌先制医療の確立	内藤 裕二	消化器内科	7,800,000	補○ 委	文部科学省
免疫チェックポイント阻害剤を利用した新規免疫細胞療法の開発	石川 剛	消化器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
HBV組み込みが肝発癌に果たす役割	南 祐仁	消化器内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
粘膜治癒を目指したIBD治療におけるWnt5aペプチドの有用性に関する検討	内山 和彦	消化器内科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
唾液による、実用的なH. pyloriの診断・抗生剤感受性試験の開発	半田 修	消化器内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
DNAメチル化とマイクロRNAの統合的エピゲノム解析による肝細胞癌の病態解明	安居 幸一郎	消化器内科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
熱ショック蛋白Apg-2の肝脂肪化と肝発癌誘導機序の解析	伊藤 義人	消化器内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
炎症性腸疾患に対する局所制御型一酸化炭素遊離薬の開発	高木 智久	消化器内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
肝細胞プロファイリングに基づくヒト慢性肝不全の病態解明と新規治療法の確立	西川 太一郎	消化器内科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
脂肪肝におけるHSP110ファミリーの脂質、糖代謝制御機構の解明	山口 寛二	消化器内科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
タイトジャンクションを標的としたアスピリン起因性小腸粘膜傷害の予防・治療薬の開発	福居 顕文	消化器内科	1,463,643	補○ 委	文部科学省
食道扁平上皮癌の増幅遺伝子SOX2のmiRNA発現制御を介した発癌促進機構の解明	玄 泰行	消化器内科	814,651	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
肝癌の発生・進展における多機能分子p62の役割	楳村 敦詩	消化器内科	1,560,000	補 委	文部科学省
二国間における消化管悪性腫瘍の変化する傾向および違い	内藤 裕二	消化器内科	960,000	補 委	日本学術振興会
機能性農林水産物・食品による脳機能活性化に着目した科学的エビデンスの獲得及び次世代機能性農林水産物・食品の開発	鎌田 和浩	消化器内科	2,400,000	補 委	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術
C型慢性肝炎・肝硬変治療前HCV NS3/4、NS5A、NS5B領域の変異検出と治療効果との関連及び無効例における耐性ウイルスの検討	伊藤 義人	消化器内科	1,153,847	補 委	国家公務員共済組合連合会虎の門病院
CHP/NY-ESO-1ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした前期第II相臨床試験	石川 剛	消化器内科	3,500,000	補 委	国立大学法人三重大学
腸内環境の包括的解析による抗炎症・抗肥満機能性糖鎖の開発	東村 泰希	消化器内科	1,307,693	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
機能性ディスぺプシア患者における十二指腸粘膜内tight junction関連蛋白質の発現ならびに知覚神経受容体発現の解析	福居 顕文	消化器内科	1,000,000	補 委	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
新規ミトコンドリア蛋白による心筋アミノ酸代謝制御の解明と心不全治療への応用	的場 聖明	循環器内科	1,430,000	補 委	文部科学省
うつ病モデルマウスにおける骨髄単球系細胞の動態制御を標的とした動脈硬化予防戦略	山田 浩之	循環器内科	910,000	補 委	文部科学省
老化に伴う循環器疾患におけるCavinファミリーの作用機構の解明	上山 知己	循環器内科	780,000	補 委	文部科学省
高脂肪食摂取母体由来胎児造血系細胞の動態変化を標的とした生活習慣病先制医療の開発	若菜 紀之	循環器内科	1,170,000	補 委	文部科学省
Caveolin-Cavinシステムの機能解析による肺高血圧症発症機序の解明	中西 直彦	循環器内科	1,950,000	補 委	文部科学省
慢性心不全患者に対する多職種介入を伴う外来・在宅心臓リハビリテーションの臨床的効果と医療経済的効果を調べる研究	白石 裕一	循環器内科	300,000	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学
CRISPR/Cas9システムを用いた成体腎臓での後天的遺伝子改変法の確立	草場 哲郎	腎臓内科	2,470,000	補 委	文部科学省
CKD疫学調査	玉垣 圭一	腎臓内科	769,231	補 委	国立大学法人筑波大学

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
肺癌治療における免疫チェックポイント阻害剤のバイオマーカー探索	高山 浩一	呼吸器内科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
悪性腫瘍に伴う悪液質の標準治療の確立	高山 浩一	呼吸器内科	4,500,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
アンドロゲン低下によるサルコペニア惹起機構の解明	福井 道明	内分泌・糖尿病・代謝内科	3,380,000	補○ 委	文部科学省
制御性T細胞の強化による非アルコール性脂肪肝炎抑制の実現とその免疫学的機構の解明	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	408,818	補○ 委	文部科学省
男性におけるテストステロン低下による非アルコール性脂肪肝炎発症機構の解明	千丸 貴史	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,730,000	補○ 委	文部科学省
網羅的自己抗体アレイにより検出された2型糖尿病における膵島廃絶予測新規自己抗体定量用ELISAの開発	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	85,557	補 委○	国立研究開発法人 科学技術振興機構
PDK1制御による多発性骨髄腫の疾患形成分子異常と腫瘍環境支持の包括的制御	黒田 純也	血液内科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
難治性リンパ腫におけるMYC, PVT1再構成・発現の解析と臨床応用	谷脇 雅史	血液内科	2,860,000	補○ 委	文部科学省
CDKN2A/2B遺伝子欠失を伴う難治性B細胞性リンパ腫に対する診断・治療開発	知念 良顕	血液内科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
リンパ系腫瘍・多発性骨髄に対する標準的治療確立のためのたし多施設共同研究	黒田 純也	血液内科	300,000	補 委○	国立研究開発法人 国立がん医療研究センター
骨代謝におけるスフィンゴシン1リン酸レセプター3(S1P3)の働き	河野 正孝	膠原病・リウマチ・アレルギ科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
肺線維症の病因におけるAIF-1の役割の解明と治療法の開発	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギ科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
男性におけるテストステロン低下による非アルコール性脂肪肝炎発症機構の解明	千丸 貴史	膠原病・リウマチ・アレルギ科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
マスト細胞のフェノティピック・コンヴァージョンと慢性脂肪炎症を繋ぐ分子シグナル	藤岡 数記	膠原病・リウマチ・アレルギ科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
αシヌクレインの脂質関連代謝の解明とそれに注目した新しいパーキンソン病治療戦略	笠井 高士	神経内科(老年内科)	1,430,000	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
側頭葉てんかんの表情認知機能のメカニズムの解明-てんかん患者の社会生活	田中 章浩	神経内科(老年内科)	2,600,000	補○ 委	文部科学省
成人期発症脳白質疾患の遺伝学的病態解明研究	吉田 誠克	神経内科(老年内科)	2,730,000	補○ 委	文部科学省
モデルショウジョウバエを用いたALSの分子病態の解明と新規標的治療薬の開発	東 裕美子	神経内科(老年内科)	1,950,000	補○ 委	文部科学省
多発性硬化症における疾患修飾薬選択のためのバイオマーカの検討	藤井 ちひろ	神経内科(老年内科)	2,470,000	補○ 委	文部科学省
transendocytosis障害による脳小血管病発症機序の解明と治療法開発	水野 敏樹	神経内科(老年内科)	2,230,385	補○ 委	文部科学省
ヒトNotch3遺伝子導入ショウジョウバエを用いた脳小血管病の研究	水田 依久子	神経内科(老年内科)	2,115,626	補○ 委	文部科学省
筋疾患の診断・病態評価へのアミロイド・タウイメージングの新規応用	能登 祐一	神経内科(老年内科)	911,713	補○ 委	文部科学省
「アミロイドβ-の毒性廃座倫理を基盤としたアルツハイマー病の新しい予防戦略」	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	3,193,830	補○ 委	文部科学省
「パーキンソン病の神経障害性α-シヌクレインオリゴマーの同定と分子標的治療への応用」	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	2,000,000	補○ 委	文部科学省
基盤研究(C) 課題番号 15K09320	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	100,000	補○ 委	文部科学省
Aβオリゴマー化動態検出センサの構築	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	280,000	補○ 委	文部科学省
医師のジェンダーの関与と、診療対話の視線と脳活動にみる、新しい医療交渉学の開発	近藤 正樹	神経内科(老年内科)	280,001	補○ 委	文部科学省
わが国で発見されたTFG遺伝子異常による運動ニューロン病の海外学術調査と病態解明	中川 正法	神経内科(老年内科)	5,120,000	補○ 委	文部科学省
Charcot-Marie-Tooth病分子病態解析と治療薬探索	中川 正法	神経内科(老年内科)	260,000	補○ 委	文部科学省
パーキンソン病の代謝物産のバイオマーカー創出およびその分子標的機構に基づく創薬シーズ同定	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	1,460,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
パーキンソン病の代謝物産のバイオマーカー創出およびその分子標的機構に基づく創薬シーズ同定	徳田 隆彦	神経内科 (老年内科)	3,000,000	補委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
循環器疾患患者を対象とした在宅ヘルスケア・システムの研究開発	水野 敏樹	神経内科 (老年内科)	723,600	補委○	近畿総合通信局
重度嗅覚障害を呈するパーキンソン病を対象としたドネペジルの予後改善効果に関する研究	徳田 隆彦	神経内科 (老年内科)	461,539	補委○	独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院
進行性核上性麻痺及び類縁疾患を対象とした多施設共同コホート研究によるバイオマーカー開発と自然歴の解明	徳田 隆彦	神経内科 (老年内科)	400,000	補委○	国立大学法人新潟大学
脳脊髄液・神経細胞外液の減少に伴う神経伝達物質の低下に対する生体電位駆動型下肢装着型補助ロボット (HAL-HN01) を用いた新たな治療実用化のための多施設共同医師主導治験の実施研究	中川 正法	神経内科 (老年内科)	1,400,000	補委○	独立行政法人国立病院機構新潟病院
HAMの革新的な医薬品等の開発促進に関する研究	中川 正法	神経内科 (老年内科)	500,000	補委○	学校法人聖マリアンナ医科大学
HAMに対する日本発の革新的治療となる抗CCR3抗体の実用化研究	中川 正法	神経内科 (老年内科)	2,300,000	補委○	学校法人聖マリアンナ医科大学
プリオン蛋白質の凝集・伝播を標的とした神経コンフォメーション病の病態解明・治療法開発	徳田 隆彦	神経内科 (老年内科)	4,200,000	補委○	国立大学法人大阪大学
遺伝性脳小血管病CADASILのデータベース構築と運用	水野 敏樹	神経内科 (老年内科)	769,231	補委○	国立大学法人三重大学
神経筋疾患の原因究明および革新的治療法開発に関する研究	水野 敏樹	神経内科 (老年内科)	1,000,000	補委○	国立大学法人鹿児島大学
急性大動脈解離に合併する脳梗塞の診療指針検討	尾原 知行	神経内科 (老年内科)	500,000	補委○	国立研究開発法人循環器病研究センター
アルツハイマー病の脳脊髄液バイオマーカーの血液および脳由来エクソソームへの展開とそれらを用いた多項目血液マーカーによる診断システムの実用化	徳田 隆彦	神経内科 (老年内科)	8,961,539	補委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
消化器癌の分泌型exosomeを介した新たな癌の進展機序の解明と実地臨床への応用	大辻 英吾	消化器外科	2,600,000	補委○	文部科学省
胃癌腹膜播種性転移に対する低浸透圧併用による抗癌剤腹腔内投与効果増強の試み	塩崎 敦	消化器外科	1,820,000	補委○	文部科学省
胃癌腹膜播種関連分泌型microRNAの同定と進展機構の解明	市川 大輔	消化器外科	650,000	補委○	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補○委	
末梢血を用いた液体生検としての胃癌HER2遺伝子増幅解析法の開発	岡本 和真	消化器外科	1,560,000	補○委	文部科学省
分泌型癌抑制microRNAを用いた消化器癌の抗癌剤感受性予測と核酸治療法の開発	小松 周平	消化器外科	1,950,000	補○委	文部科学省
膵癌の新規スクリーニング法ならびに再発診断法の開発	村山 康利	消化器外科	1,430,000	補○委	文部科学省
胃癌の新しい癌抑制遺伝子RUNX3の細胞分化・癌化機構の解明と診断・診断への応用	阪倉 長平	消化器外科	2,080,000	補○委	文部科学省
温熱刺激によるアクアポリン制御を介した胃癌低浸透圧細胞破壊増強機構の解明	小菅 敏幸	消化器外科	1,950,000	補○委	文部科学省
癌幹細胞特異的に発現するクロライドイオン輸送体を標的とした食道癌新規治療法の開発	石本 武史	消化器外科	1,950,000	補○委	文部科学省
血漿中のmiRNAを指標とした新規膵癌リンパ節転移診断法の開発	森村 玲	消化器外科	1,170,000	補○委	文部科学省
胃癌における血球由来exosomeを介した新たな癌の進展機序の解明と臨床への応用	有田 智洋	消化器外科	1,170,000	補○委	文部科学省
環状RNAによるびまん性胃癌の悪性形質獲得とその分子機構の解明	庄田 勝俊	消化器外科	1,430,000	補○委	文部科学省
5-アミノレブリン酸(5-ALA)とランタニドナノ粒子(LNP)併用による深部微小癌局在診断技術の構築	大辻 英吾	消化器外科	12,010,000	補○委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
食道亜全摘術を行う食道癌患者における急性肺合併症に対するOSK-0028の有効性及び安全性の検討(第II相試験)	大辻 英吾	消化器外科	307,693	補○委○	国立大学法人大阪大学
食道癌におけるオートファジーの役割の解明と新たな治療体系の開発	藤原 斉	消化器外科 (薬物応用腫瘍外科学講座)	1,560,000	補○委	文部科学省
食道癌に対するGSTP1タンパク発現を指標とした新規個別化治療法の開発	小西 博貴	消化器外科 (薬物応用腫瘍外科学講座)	1,950,000	補○委	文部科学省
生体内組織形成技術を用い人工物を使用せずに作成する循環器領域への代用組織の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	5,647,633	補○委	文部科学省
臨床応用を想定した“自己体内再生型”結合組織代用血管バイオチューブの多角的展開	神田 圭一	心臓血管外科	5,590,000	補○委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
自家生体組織膜で被覆した stent Biocovered stentの開発	坂井 修	心臓血管外科	1,949,321	補○ 委	文部科学省
血流解析を組み込んだ循環器診断システムの開発と次世代の予測医療の樹立	宮崎 翔平	心臓血管外科	2,066,498	補○ 委	文部科学省
不活性ガス再呼吸法による非侵襲的心拍出量計測法：開心術後リハビリへの応用	土井 潔	心臓血管外科	260,000	補○ 委	文部科学省
異種動物体内で自在に作製でき緊急手術にも対応可能な自己再生型小口径代用血管の開発	山南 将志	心臓血管外科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
先天性心疾患の外科治療における自己結合組織による肺動脈形成素材の開発	前田 吉宣	心臓血管外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
単離ミトコンドリア移植法の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
異種チューブ・マトリックスを足場に患者体内で再生する動脈グラフトの開発	神田 圭一	心臓血管外科	2,910,730	補○ 委	文部科学省
Non-coding RNA Y1のiPSリプログラミングにおける役割の解明	五條 理志	心臓血管外科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
心筋分化誘導に関連する lncRNAの探索と解析	上 大介	心臓血管外科	910,000	補○ 委	文部科学省
DIY再生医療を用いて『患者体内で作る』CABG用バイオチューブ代用血管の開発	神田 圭一	心臓血管外科	1,280,688	補○ 委	文部科学省
遠隔期心機能予後を向上させる心臓血管手術を行うための、血流解析システムの構築	板谷 慶一	心臓血管外科	469,095	補○ 委	文部科学省
間葉系幹細胞の凝集体導入によるバイオチューブ代用血管移植後の血管壁再構築化促進	山南 将志	心臓血管外科	1,070,656	補○ 委	文部科学省
立体造形による機能的な生体組織製造技術の開発／細胞を用いた機能的な立体組織作製技術の研究開発／バイオ3Dプリンタで造形した小口径 Scaffold free細胞人工血管の臨床開発	五條 理志	心臓血管外科	43,056,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
循環器疾患患者を対象とした在宅ヘルスケア・システムの研究開発	夜久 均	心臓血管外科	364,167	補 委○	近畿総合通信局
自己心膜製ステントレス僧帽弁置換術の安全性と効果に関する研究	夜久 均	心臓血管外科	149,020	補 委○	公益財団法人日本 心臓血圧研究振興 会付属榊原記念病 院

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
反転授業の呼吸器外科学臨床教育への導入と学習効果の検討	伊藤 和弘	呼吸器外科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
悪性胸腺上皮性腫瘍のPD1/PDL1作用に関する病態解明と新たな免疫療法の開発	井上 匡美	呼吸器外科	2,210,000	補○ 委	文部科学省
ラットを用いた開胸癒着モデルでの低用量アスピリンによる胸膜癒着抑制の機序の解明	石原 駿太	呼吸器外科	2,243,804	補○ 委	文部科学省
肺癌のパクリタキセル耐性に関わる関連タンパク質の同定とその機能解明	下村 雅律	呼吸器外科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
エタノール放出発熱ポリマーによる微小スリガラス状肺癌の局所硬化治療法の基礎的検討	島田 順一	呼吸器外科	1,076,764	補○ 委	文部科学省
PPAR-gamma活性化による新たな肺癌分子標的療法の開発	井上 匡美	呼吸器外科	613,013	補○ 委	文部科学省
臓器移植後成績向上のための、脳死臓器提供におけるドナー評価・管理システム・ガイドラインの作成	井上 匡美	呼吸器外科	275,393	補 委○	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
内分泌療法耐性乳癌におけるエストロゲン付加および枯渇療法の治療効果予測因子の検索	大本 陽子	内分泌・乳腺 外科学	1,260,513	補○ 委	文部科学省
化学療法による皮膚障害に対する高濃度水素水の有用性に関する研究	田口 哲也	内分泌・乳腺 外科学	1,300,000	補○ 委	文部科学省
5-ALAによる新しいセンチネルリンパ節転移・断端診断法の開発	阪口 晃一	内分泌・乳腺 外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
化学療法による皮膚障害に対する高濃度水素水の有用性に関する研究	田口 哲也	内分泌・乳腺 外科	1,104,706	補○ 委	文部科学省
胸腺若年再生による前臨床大動物での免疫寛容誘導新戦略：宿主骨髄と胸腺外因子の役割	昇 修治	移植・一般外科	4,290,000	補○ 委	文部科学省
腎移植後再発性IgA腎症に対する扁桃腺摘出の有効性に関する研究	吉村 了勇	移植・一般外科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
CD8+/CD122+制御性T細胞による臓器移植免疫寛容誘導に関する研究	中村 緑佐	移植・一般外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
低出力超音波パルスによる腎尿管細胞再生促進法の開発	牛込 秀隆	移植・一般外科	1,953,009	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
末梢神経損傷に対する細胞移植治療を目的とした新規シュワン細胞誘導法	素輪 善弘	形成外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
悪性グリオーマ幹細胞におけるWT1とALCAMの機能的役割と血管新生への関与	橋本 直哉	脳神経外科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
脳腫瘍患者の病状説明における芸術的アプローチの応用研究	古野 優一	脳神経外科	910,000	補○ 委	文部科学省
iPS細胞に対してバイオリクターを用いた新しい硝子様軟骨再生法の開発	久保 俊一	整形外科	5,588,207	補○ 委	文部科学省
肉腫に対する熱ストレス蛋白抑制技術を用いた断端処理方法の開発	寺内 竜	整形外科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
関節軟骨二重造影法の確立—MRIによる軟骨初期変性の可視化を目指して—	生駒 和也	整形外科	1,009,217	補○ 委	文部科学省
足部・足関節変形における新しい画像解析法の確立—足部疾患の病態解明を目指して—	徳永 大作	整形外科	3,045,438	補○ 委	文部科学省
骨折修復と体内時計の包括的研究	藤原 浩芳	整形外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
CD81を標的とした新規抗がん薬の開発	白井 寿治	整形外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
指電極の開発—神経合併症の軽減を目指して—	細井 邦彦	整形外科	1,524,784	補○ 委	文部科学省
骨粗鬆症性椎体骨折に対する自己多血小板血漿を用いた椎体形成術の開発	長江 将輝	整形外科	1,537,836	補○ 委	文部科学省
超高純度生体内吸収性固定材料の開発	岡 佳伸	整形外科	369,747	補○ 委	文部科学省
MRIを用いた骨質評価法の開発—骨質を画像化する—	堀井 基行	整形外科	1,208,825	補○ 委	文部科学省
connexin43を分子標的とした関節リウマチに対する創薬基盤の構築	土田 真嗣	整形外科	508,035	補○ 委	文部科学省
足部疾患に対する有限要素法の応用—新しい装具療法の開発—	今井 寛	整形外科	1,872,534	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
脳fMRIを用いた腰部脊柱管狭窄症による痛みの可視化へ向けた基礎研究	水野 健太郎	整形外科	2,256,294	補○ 委	文部科学省
ステロイド性骨壊死予防の臨床応用可能な条件の確立-高磁場MRIの定量評価を用いて	石田 雅史	整形外科	1,280,914	補○ 委	文部科学省
H0-1を用いた細胞ストレス耐性の増強による特発性大腿骨頭壊死症予防法の開発	齊藤 正純	整形外科	1,144,659	補○ 委	文部科学省
前十字靭帯再建後の靭帯リモデリングに基づく客観的なりハビリテーション指標の確立	中川 周士	整形外科	1,217,634	補○ 委	文部科学省
多血小板血漿および徐放担体を用いた前十字靭帯再建術の次世代治療戦略	井上 裕章	整形外科	1,069,495	補○ 委	文部科学省
脊髄functional MRIを用いた疼痛の定量評価法の確立	小田 良	整形外科	622,460	補○ 委	文部科学省
ダイレクト・リプログラミング法で作成した骨芽細胞移植による骨癒合促進方法の開発	谷口 大吾	整形外科	1,691,364	補○ 委	文部科学省 (小原確認中)
転移性骨腫瘍に対する局所制御と骨形成促進を目的とした非手術的新規治療法の開発	村田 博昭	整形外科	1,405,311	補○ 委	文部科学省
容量電場刺激を用いた新たな骨粗鬆症治療法の開発	吉田 隆司	整形外科	608,853	補○ 委	文部科学省
生理的低酸素環境の再現による軟骨細胞のストレス応答機構の究明	新井 祐志	整形外科	1,298,013	補○ 委	文部科学省
HIF-1 α をターゲットとした新しいOA治療法の開発	久保 俊一	整形外科	1,847,572	補○ 委	文部科学省
光触媒と電磁波を併用した異物関連感染症の制圧	金 郁喆	整形外科	1,770,598	補○ 委	文部科学省
成長軟骨板損傷に対するMRIを用いた画像評価法と成長軟骨再生医療の開発	岡 佳伸	整形外科	1,053,052	補○ 委	文部科学省
癒痕治癒に依存しない積極的筋損傷治療法の開発 -線維芽細胞阻害に着目して-	中川 周士	整形外科	285,498	補○ 委	文部科学省
細胞間コミュニケーションの制御を軸とした関節リウマチの新たな治療戦略	土田 真嗣	整形外科	283,445	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
子宮内膜症の病態に潜在性子宮内感染と子宮内膜炎が及ぼす影響に関する研究	カーン カレク	産婦人科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
子宮内膜症のエストロゲン関連受容体を介した増殖機構解明と新規分子標的治療の提案	北脇 城	産婦人科	780,000	補○ 委	文部科学省
エストロゲン関連受容体を標的とする新たな子宮体癌内分泌療法の開発	森 泰輔	産婦人科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
子宮体癌の新規内分泌療法を目的としたエストロゲン関連受容体のリガンド同定	松島 洋	産婦人科	1,500,000	補○ 委	文部科学省
動脈硬化リスクを軽減する新規ホルモン補充療法確立のための基礎的エビデンスの構築	伊藤 文武	産婦人科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
アスリートに対するOC/LEP使用の啓発活動	北脇 城	産婦人科	692,308	補 委○	国立大学法人東京大学
Estrogen related receptorの病態への意義と分子標的治療	北脇 城	産婦人科	1,230,770	補 委○	国立大学法人東京大学
角膜内皮細胞亜集団間コミュニケーションによる相転移制御の分子実態解明	木下 茂	眼科	3,120,000	補○ 委	文部科学省
SJS/TENの発症機序ならびに病態解明に向けた戦略的研究	外園 千恵	眼科	6,500,000	補○ 委	文部科学省
眼瞼手術が自発性瞬目と涙液量に及ぼす影響の解明と機能性流涙の新しい術式の開発	渡辺 彰英	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
原発開放隅角緑内障における視野障害パターン別全ゲノム解析	池田 陽子	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
エキソーム解析と細胞形質評価によるフックス角膜内皮ジストロフィの病因と病態の解明	上野 盛夫	眼科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
再生医療による眼表面粘膜バリアーの再構築と重症療痕性疾患への応用	稲富 勉	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
細胞系譜解析を用いた角膜上皮幹細胞の恒常性維持機構の解明	中村 隆宏	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
油層動態に基づく涙液層の形成・破壊の分子メカニズムの解明とその臨床応用	横井 則彦	眼科	1,820,000	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
マイボーム腺脂質、常在細菌叢、性ホルモンの関係する眼表面疾患の病態解明	鈴木 智	眼科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
RSP01を用いた角膜再生医療の基盤技術開発	永田 真帆	眼科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
IKZF1による眼表面炎症制御機構の解明ならびに新規抗炎症治療薬への応用	上田 真由美	眼科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
エネルギー応答を指標とする角膜内皮障害の創薬標的と早期診断基盤技術の開発	外園 千恵	眼科	650,000	補○ 委	文部科学省
網膜色素上皮細胞の放出する細胞外微粒子による網膜下炎症環境の破綻	羽室 淳爾	眼科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
遺伝子多型間相互作用解析による難治性眼表面疾患発症予測システム開発の先駆的研究	木下 茂	眼科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
メラニン関連自発蛍光を用いた非侵襲的眼底イメージング手法の開発	山岸 哲哉	眼科	130,000	補○ 委	文部科学省
内視鏡を用いた上脈絡膜腔アプローチによる眼科手術の開発	小嶋 健太郎	眼科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
角膜内皮分化課程解明とそれに基づくヒトES/iPS細胞から角膜内皮細胞の分化誘導	中井 義典	眼科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
角膜上皮細胞の特異性を規定している転写因子の機能解析と相互作用の解明	北澤 耕司	眼科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
加齢黄斑変性における網膜色素上皮のエピジェネティックな制御と正常化	畑中 宏樹	眼科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
角膜移植長期予後予測因子の開発	丸山 悠子	眼科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
膠様滴状角膜ジストロフィにおけるタイトジャンクション構成機構の解明	中司 美奈	眼科	1,048,576	補○ 委	文部科学省
感冒薬による重症薬疹発症に関わる遺伝素因の同定並びに病態の解明	上田 真由美	眼科	22,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
Stevens-Johnson症候群慢性期の診断基準・実態調査と治療法の確立	外園 千恵	眼科	4,600,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
再生医療等の産業化に向けた評価手法等の開発	木下 茂	眼科	40,136,364	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性筋疾患に対する細胞移植治療法の開発	佐藤 貴彦	眼科	1,153,847	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性角結膜疾患に対する培養自家口腔粘膜上皮シート移植	外園 千恵	眼科	19,612,039	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	木下 茂	眼科	51,931,331	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
視機能が高齢者の身体機能に与える影響および予防・治療法の標準化に関する研究	外園 千恵	眼科	5,100,000	補委○	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
培養角膜内皮細胞を用いた水疱性角膜症に対する革新的再生医療の早期薬事承認による社会還元	木下 茂	眼科	65,520,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
筋萎縮の病態に迫るミトコンドリアのメカノバイオロジー	佐藤 貴彦	眼科	11,700,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
多職種協働による地域包括ロービジョンケアシステム開発に関する研究	外園 千恵	眼科	346,154	補委○	国立大学法人東北大学
概日リズムの変化がアレルギー疾患の発症と難治化におよぼす影響の分子機構の解明	加藤 則人	皮膚科	1,560,000	補委○	文部科学省
アトピー性皮膚炎におけるToll様受容体の役割の解明とそれに基づく新治療法の開発	峠岡 理沙	皮膚科	1,560,000	補委○	文部科学省
腫瘍特異的リンパ球をドラッグキャリアに用いた皮膚悪性腫瘍に対する新規治療法の開発	浅井 純	皮膚科	1,560,000	補委○	文部科学省
Toll様受容体3が即時型アレルギーにおいて果たす役割と分子機構の解明	中村 直美	皮膚科	1,950,000	補委○	文部科学省
血管肉腫に対するPI3K経路阻害剤とエピジェネティクス制御化合物の併用効果の検討	和田 誠	皮膚科	1,950,000	補委○	文部科学省
アトピー性皮膚炎の診療の均てん化のための大規模疫学調査と診療ガイドライン・連携資材の作成	加藤 則人	皮膚科	2,000,000	補委○	厚生労働省
難治性膀胱上皮内癌に対する新規治療法としての $\gamma\delta$ T細胞膀胱内注入療法の開発	中西 弘之	泌尿器科	1,170,000	補委○	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
3次元解剖情報に2次元リアルタイム超音波を同期させた穿刺ナビゲーションの開発	山田 恭弘	泌尿器科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
膀胱上皮内癌に対する光力学的治療を目的とした複合型光ファイバーの開発	大石 正勝	泌尿器科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
アンドロゲン作用低下を介した精巣腫瘍増悪メカニズムの解明	上田 崇	泌尿器科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
前立腺癌細胞浸潤を促進する新規細胞膜結合型タンパク分解制御因子に関する研究	上田 紗弥	泌尿器科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
がん標的化低侵襲治療開発研究	浮村 理	泌尿器科	10,000,000	補○ 委 公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院
蝸牛感覚上皮の組織構築とバリア機能ー頂側結合の役割に関してー	坂口 博史	耳鼻咽喉科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
頭頸部扁平上皮癌に対する免疫遺伝子治療と分子標的薬併用治療についての検討	中野 宏	耳鼻咽喉科	910,000	補○ 委 文部科学省
気道防御機構としての下咽頭・喉頭の機能解剖学的研究	板東 秀樹	耳鼻咽喉科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
脱細胞喉頭土台を用いた喉頭全摘後の喉頭再生に関する研究	平野 滋	耳鼻咽喉科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
咽喉頭電気刺激による嚥下および呼吸中枢の協調性の改善に関する研究	杉山 庸一郎	耳鼻咽喉科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
Opitz G/BBB症候群(全身の正中部に生じる形成不全症)の病態解明に向けて	中村 高志	耳鼻咽喉科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
強迫性障害における主観的時間とその生物学的基盤	酒井 雄希	精神科・心療内科	3,900,000	補○ 委 文部科学省
インターネット依存の強迫性に注目した神経画像研究	福居 顯二	精神科・心療内科	650,000	補○ 委 文部科学省
85歳以上の超高齢者を対象とした簡便な認知機能スクリーニング検査法の開発	加藤 佑佳	精神科・心療内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
うつ病を伴う強迫性障害に対する経頭蓋磁気刺激法の神経画像研究	中前 貴	精神科・心療内科	2,080,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
地域に根差したがん患者の精神的サポートシステムの開発	羽多野 裕	精神科・心療内科	44,928	補○ 委 文部科学省
高齢者の安全で自律的な経済活動を見守る社会的ネットワークの構築	成本 迅	精神科・心療内科	8,862,055	補 委○ 国立研究開発法人 科学技術振興機構
拠点名：真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点	成本 迅	精神科・心療内科	26,919,000	補 委○ 国立研究開発法人 科学技術振興機構
高齢者の意思決定を支える能力評価と支援方法に関する心理職のためのEラーニング教育プログラムの開発	加藤 佑佳	精神科・心療内科	1,000,000	補 委○ 京都市
脳機能補完による高齢者・障がい者の機能回復支援技術の研究開発	松岡 照之	精神科・心療内科	5,684,440	補 委○ 国立研究開発法人 情報通信研究機構
前立腺肥大症に対する経皮的凍結療法：隣接臓器と周囲組織への影響の検討	田中 治	放射線科	520,000	補○ 委 文部科学省
肺スリガラス結節に対する媒体注入下凍結療法の基礎的研究	三浦 寛司	放射線科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
胎児機能不全におけるIVIM-DWIを用いた新しい胎児臓器血流評価法の検討	山田 香織 (西田香織)	放射線科	650,000	補○ 委 文部科学省
フラットニングフィルターフリービームの基本物理線量特性に関する研究	尾方 俊至	放射線科	653,313	補○ 委 文部科学省
乳房ダイナミックMRI・早期造影動態解析を用いた新規乳腺病変評価法の構築	後藤 真理子	放射線科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
NBCA血管塞栓術におけるNBCA専用調整剤の開発	林 奈津子	放射線科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
前立腺肥大症に対する経皮的凍結療法：隣接臓器と周囲組織への影響の検討	田中 治	放射線科	2,600,021	補○ 委 文部科学省
肺スリガラス結節に対する媒体注入下凍結療法の基礎的研究	三浦 寛司	放射線科	2,389,385	補○ 委 文部科学省
胎児機能不全におけるIVIM-DWIを用いた新しい胎児臓器血流評価法の検討	山田 香織 (西田香織)	放射線科	1,842,884	補○ 委 文部科学省
腎肺クロストークを介した人工呼吸器誘発性腎障害のメカニズム解明	橋本 悟	麻酔科	1,560,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
インフラマソームによる神経炎症を標的とした慢性痛の新規治療戦略	天谷 文昌	麻酔科	5,070,000	補○ 委	文部科学省
緑膿菌PcrV-CpG(K3)-SPGワクチンの開発と前臨床試験	佐和 貞治	麻酔科	5,720,000	補○ 委	文部科学省
周術期抗血小板薬薬効モニタリングのための血小板由来microRNA発現解析の検討	中山 力恒	麻酔科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
脳波ボワンカレプロットのヒステリシス解析を用いた即応的麻酔深度推定法の開発	林 和子	麻酔科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
microRNAによる急性腎障害発症機序の解明と、早期診断バイオマーカーへの応用	影山 京子	麻酔科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
多種画像診断モダリティを用いた血流とエネルギー損失解析による周術期治療戦略検討	石井 真紀	麻酔科	4,160,000	補○ 委	文部科学省
脾臓由来M1型及びM2型単球系細胞を介した神経障害性疼痛発症のメカニズム解明	柴崎 雅志	麻酔科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
急性腎障害に関与するmiRNA-ceRNAクロストークとバイオマーカーへの応用	徳平 夏子	麻酔科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
microRNAの網羅的発現解析法を用いた血小板機能低下の機序解明と抑制法の開発	前田 祥子	麻酔科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
新規経口抗凝固薬を対象とした、全血検体による薬効評価法の確立	小川 寛	麻酔科	2,860,000	補○ 委	文部科学省
オピオイドはTLR4を介して急性肺障害を増悪させるか？	松山 広樹	麻酔科	2,659,682	補○ 委	文部科学省
新規神経栄養因子MANFの小胞体ストレス軽減作用を介した神経障害性痛治療の可能性	天谷 文昌	麻酔科	1,279,079	補○ 委	文部科学省
単一ドメイン抗体によるグラム陰性菌Ⅲ型病原毒性の抑制探索	佐和 貞治	麻酔科	2,038,394	補○ 委	文部科学省
急性肺傷害に対するレゾルビン内包化陰性電荷リポソーム吸入療法の開発	田畑 雄一	麻酔科	2,900,000	補○ 委	文部科学省
in vitro神経傷害モデルを用いた神経障害性疼痛発症のメカニズム解析	細川 豊史	疼痛・緩和ケア科	1,560,000	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
タキサン系抗癌剤による末梢神経障害性疼痛の予防・治療法の開発	上野 博司	疼痛・緩和ケア科	2,510,315	補○ 委	文部科学省
スーパーハイリスク神経芽腫における再発機構の解明	家原 知子	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
生育疾患克服等次世代生育基盤研究事業 神経芽腫マスキリーニング休止後の神経芽腫発生状況に関する研究	家原 知子	小児科	6,000,000	補○ 委	厚生労働省
非受容体型チロシンキナーゼPYK2を分子標的とする川崎病新規治療法の開発	中村 明宏	小児科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
冠動脈プロテオミクス解析による川崎病バイオマーカーの探索	河井 容子	小児科	910,000	補○ 委	文部科学省
小児肥満におけるFTO遺伝子多型と肥満形成速度の関連解析	中島 久和	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
褐色脂肪細胞を標的としたAng 1-7の肥満治療への探索	森 潤	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
てんかん性脳症の予後改善に向けた創薬基盤研究	千代延 友裕	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
Siglec-9による活性化好中球細胞死誘導の分子学的機序とその臨床的意義の検討	加納 原	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
血清、髄液中microRNAを用いた横紋筋肉腫新規治療戦略の開発	宮地 充	小児科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
小児がんにおける抗PD1抗体の臨床応用に向けた腫瘍免疫メカニズムの解明	土屋 邦彦	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
iPS細胞技術を用いたガンマグロブリン不応川崎病に対する新規治療標的分子の探索	池田 和幸	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
肺高血圧モデルにおける右心機能および心室間相互作用に対する心拍数抑制効果の検討	奥村 謙一	小児科	2,600,000	補○ 委	文部科学省
小児がんにおける地固め療法としてのペプチドワクチン療法の確立	細井 創	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
拡散テンソル画像を用いた極低出生体重児の治療評価と神経学的予後の検討	長谷川 龍志	小児科	650,000	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ノン・ハイリスク群小児悪性固形腫瘍の安全性と治療後QOLの向上への新たな標準治療法開発のための多施設共同臨床研究	細井 創	小児科	9,678,647	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
小児がんに対するキメラ抗原受容体T細胞を用いた細胞製剤の開発	柳生 茂希	小児科	1,000,000	補 委○	京都市
川崎病の発症・増悪機序に関する実験的検討、臨床試験実施、治療法・予防法開発の協力	池田 和幸	小児科	384,616	補 委○	地方独立行政法人 福岡市立病院機構
横紋筋肉腫を対象としたWT1ペプチドワクチンの開発について	細井 創	小児科	2,428,159	補 委○	公益社団法人日本 医師会治験促進セ ンター
小児ALLにおける網羅的遺伝子解析研究による新規予後不良因子の同定と治療開始早期の層別化の検討	今村 俊彦	小児科	1,915,385	補 委○	独立行政法人国立 病院機構名古屋医 療センター
胞巣型横紋筋肉腫細胞における筋最終分化の誘導と治療法の開発	細井 創	小児科	2,800,000	補 委○	佐賀県医療セン ター好生館
悪性軟部腫瘍を対象としたWT1ペプチドワクチンの開発について (CCT-B-2801)	細井 創	小児科	3,279,617	補 委○	公益社団法人日本 医師会治験促進セ ンター
治療の実施に関する研究 [WT1ペプチドワクチン] (CCT-C-2851)	宮地 充	小児科	85,600	補 委○	公益社団法人日本 医師会
横隔膜全欠損に対する臍帯由来幹細胞を用いた横隔膜再生医療の開発	田尻 達郎	小児外科	900,000	補 委○	文部科学省
神経芽腫に対するEngineered Stem Cellによる新規細胞療法の開発	田尻 達郎	小児外科	3,000,000	補 委○	文部科学省
ヒルシュスプルング病および類縁疾患における乳歯幹細胞による病因解明と新規治療開発	田尻 達郎	小児外科	200,000	補 委○	文部科学省
中動物モデルを用いた横隔膜全欠損型ヘルニアに対する胎児治療の開発	古川 泰三	小児外科	1,700,000	補 委○	文部科学省
難治性リンパ管腫に対する分子標的治療と光線力学療法を併用した新規低侵襲治療の開発	文野 誠久	小児外科	1,200,000	補 委○	文部科学省
横隔膜全欠損に対する臍帯由来幹細胞を用いた横隔膜再生医療の開発	田尻 達郎	小児外科	900,000	補 委○	文部科学省
先天性横隔膜ヘルニアモデルにおける胎児治療の開発	坂井 宏平	小児外科	500,000	補 委○	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
小児呼吸器形成異常・低形成疾患に関する実態調査ならびに診療ガイドライン作成に関する研究	古川 泰三	小児外科	100,000	補○ 委	厚生労働省
小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	田尻 達郎	小児外科	1,000,000	補○ 委	厚生労働省
難治性小児悪性固形腫瘍における診断バイオマーカーの同定と新規治療法の開発に関する研究	田尻 達郎	小児外科	2,845,336	補 委○	国立大学法人広島大学
難治性リンパ管異常に対するシロリムス療法確立のための研究	田尻 達郎	小児外科	2,352,000	補 委○	国立大学法人岐阜大学
“なぜ遺伝子変異なしでがんができるか”その分子基盤解明と標的探索	田尻 達郎	小児外科	192,308	補 委○	埼玉県立がんセンター
ノン・ハイリスク群小児悪性固形腫瘍の安全性と治療後QOLの向上への新たな標準治療法開発のための多施設共同臨床研究	田尻 達郎	小児外科	2,950,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
レプリカおよび外科手術シミュレーションの評価	山岸 正明	小児心臓血管外科	307,693	補 委○	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
歯周病原細菌による菌血症モデルを用いた心血管系疾患の発症メカニズムの検討	藤野 あかね	歯科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
羊膜上培養歯髄由来細胞シートを用いた新規骨再生医療に関する研究	山本 俊郎	歯科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
口腔粘膜炎に対する予防・治療を目指したβ-クリプトキサンチンの検討	大迫 文重	歯科	1,559,999	補○ 委	文部科学省
骨再生医療のための新規羊膜上培養骨髄由来細胞シートの開発に関する研究	金村 成智	歯科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
羊膜の組織修復作用と骨再生能に着目した新規培養歯根膜由来細胞シートに関する研究	雨宮 傑	歯科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
歯髄疾患の治療を目指した神経分化誘導羊膜上歯髄由来細胞シートの作成	本城 賢一	歯科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
歯髄幹細胞由来エクソソームとナノゲルを併用した末梢神経障害の新規治療法の開発	足立 哲也	歯科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
音楽および音声が救急蘇生法の質に与える影響に関する挑戦的萌芽研究	山畑 佳篤	救急医療科	932,584	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
HGF/c-Metシグナルを介した低酸素応答による椎間板恒常性維持機構の解析	三上 靖夫	リハビリテーション科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
独自の圧負荷装置を用いた椎間板細胞のオートファジー機構の解明と制御方法の確立	池田 巧	リハビリテーション科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
mTOR阻害による寿命延長効果を応用した新規椎間板再生法の確立	三上 靖夫	リハビリテーション科	111,669	補○ 委 文部科学省
検査法の開発	稲葉 亨	臨床検査部	76,924	補 委○ 国立大学法人大阪大学
腫瘍発生における多様なゲノム構造異常およびキメラ遺伝子形成の分子機構の解明	滝 智彦	遺伝子診療部	1,690,000	補○ 委 文部科学省
欠失型および複雑型染色体異常の評価法および診断法の開発	滝 智彦	遺伝子診療部	2,490,000	補 委○ 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
小児骨髄系腫瘍に対する標準的治療法の確立	滝 智彦	遺伝子診療部	500,000	補 委○ 国立大学法人京都大学

小計 7

計 292件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主な
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Seko Y, Sumida Y, Tanaka S, et al	消化器内科	Effect of sodium glucose cotransporter 2 inhibitor on liver function tests in Japanese patients with non-alcoholic fatty liver disease and type 2 diabetes mellitus.	Hepato Res. 2016 Dec (オンライン)	Original Article
2	Seko Y, Sumida Y, Tanaka S, et al	消化器内科	Effect of 12-week dulaglutide therapy in Japanese patients with biopsy-proven non-alcoholic fatty liver disease and type 2 diabetes mellitus.	Hepato Res. 2016 Nov (オンライン)	Original Article
3	Seko Y, Sumida Y, Tanaka S, et al	消化器内科	Development of hepatocellular carcinoma in Japanese patients with biopsy-proven non-alcoholic fatty liver disease: Association between PNPLA3 genotype and hepatocarcinogenesis/fibrosis	Hepato Res. 2016 Nov (オンライン)	Original Article
4	Takagi T, Naito Y, Uchiyama K, et al	消化器内科	Carbon monoxide promotes gastric wound healing in mice via the protein kinase C pathway.	Free Radic Res. 2016 Oct; 50: 1098-1105	Original Article
5	Okajima A, Sumida Y, Taketani H, et al	消化器内科	Liver stiffness measurement to platelet ratio index predicts the stage of liver fibrosis in non-alcoholic fatty liver disease. Hepato Res. 2016 Aug 18.	Hepato Res. 2016 Sep (オンライン)	Original Article
6	Yoshida N, Naito Y, Murakami T, et al	消化器内科	Safety and Efficacy of a Same-Day Low-Volume 1 L PEG Bowel Preparation in Colonoscopy for the Elderly People and People with Renal Dysfunction.	Dig Dis Sci. 2016 Nov; 61: 3229-3235	Original Article
7	Tomie A, Dohi O, Yagi N, et al	消化器内科	Blue Laser Imaging-Bright Improves Endoscopic Recognition of Superficial Esophageal Squamous Cell Carcinoma. Gastroenterol Res Pract. 2016;2016:6140854. Epub 2016 Sep 22.	Gastroenterol Res Pract. 2016 Sep (オン ライン)	Original Article
	Morita M, Naito Y, Yoshikawa T, et al	消化器内科	Inhibition of plasma lipid oxidation induced by peroxy radicals, peroxy nitrite, hypochlorite, 15-lipoxygenase, and singlet oxygen by clinical drugs.	Bioorg Med Chem Lett. 2016 Nov; 26: 5411- 5417	Original Article
9	Takagi T, Naito Y, Higashimura Y, et al	消化器内科	Partially hydrolysed guar gum ameliorates murine intestinal inflammation in association with modulating luminal microbiota and SCFA.	Br J Nutr. 2016 Oct; 116: 1199-1205	Original Article
10	Uchiyama K, Sakiyama T, Hasebe T, et al	消化器内科	Butyrate and bioactive proteolytic form of Wnt-5a regulate colonic epithelial proliferation and spatial development.	Sci Rep. 2016 Aug (オ ンライン)	Original Article
11	Dohi O, Yagi N, Onozawa Y, et al	消化器内科	Linked color imaging improves endoscopic diagnosis of active Helicobacter pylori infection.	Endosc Int Open. 2016 Jul; 4: E800-805	Original Article
12	Moriguchi M, Umamura A, Itoh Y, et al	消化器内科	Current status and future prospects of chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma.	Clin J Gastroenterol. 2016 Aug; 9: 184-90	Review

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
13	Ishikawa T, Yasuda T, Doi T, et al	消化器内科	The amino acid-rich elemental diet Elental® preserves lean body mass during chemo- or chemoradiotherapy for esophageal cancer.	Oncol Rep. 2016 Aug; 36: 1093-100	Original Article
14	Horii Y, Uchiyama K, Toyokawa Y, et al	消化器内科	Partially hydrolyzed guar gum enhances colonic epithelial wound healing via activation of RhoA and ERK1/2.	Food Funct. 2016 Jul; 7: 3176-83	Original Article
15	Dohi O, Yagi N, Majima A, et al	消化器内科	Diagnostic ability of magnifying endoscopy with blue laser imaging for early gastric cancer: a prospective study.	Gastric Cancer. 2017 Mar; 20: 297-303	Original Article
16	Umemura A, He F, Taniguchi K, et al	消化器内科	p62, Upregulated during Preneoplasia, Induces Hepatocellular Carcinogenesis by Maintaining Survival of Stressed HCC-Initiating Cells.	Cancer Cell. 2016 Jun; 29: 935-48	Original Article
17	Naito Y, Takagi T, Uchiyama K, et al	消化器内科	Multiple targets of carbon monoxide gas in the intestinal inflammation.	Arch Biochem Biophys. 2016 Apr; 595: 147-152	Original Article
18	Koshitani T, Nakagawa S, Itoh Y, et al	消化器内科	Multiple self-expandable metal stent deployment for unresectable malignant hilar biliary strictures: Combination of side-by-side and stent-in-stent methods.	Dig Endosc. 2016 Jul (オンライン)	Original Article
19	Yoshida N, Naito Y, Murakami T, et al	消化器内科	High incidence of postoperative hemorrhage in colorectal endoscopic submucosal dissection during anticoagulant therapy.	Int J Colorectal Dis. 2016 Aug; 31: 1487-8	Original Article
20	Yamada N, Yasui K, Dohi O	消化器内科	Genome-wide DNA methylation analysis in hepatocellular carcinoma.	Oncol Rep. 2016 Apr; 35: 2228-36	Original Article
21	Ishiba H, Sumida Y, Kataoka S, et al	消化器内科	Association of coronary artery calcification with liver fibrosis in Japanese patients with non-alcoholic fatty liver disease.	Oncol Rep. 2016 Apr; 35: 2228-36	Original Article
22	Ogiso K, Yoshida N, Siah KT, et al	消化器内科	New-generation narrow band imaging improves visibility of polyps: a colonoscopy video evaluation study.	J Gastroenterol. 2016 Sep; 51: 883-90	Original Article
23	Dohi O, Yagi N, Majima A, et al	消化器内科	Diagnostic ability of magnifying endoscopy with blue laser imaging for early gastric cancer: a prospective study.	Gastric Cancer. 2017 Mar; 20: 297-303	Original Article
24	Majima A, Handa O, Naito Y, et al	消化器内科	Early-Stage Gastric Cancer Can Be Found in Improved Atrophic Mucosa over Time from Successful Helicobacter pylori Eradication.	Digestion. 2017 Mar; 95: 194-200	Original Article
25	Majima A, Handa O, Naito Y, et al	消化器内科	Real-time monitoring of trans-epithelial electrical resistance in cultured intestinal epithelial cells: the barrier protection of water-soluble dietary fiber.	J Dig Dis. 2017 Mar; 18: 151-159	Original Article
26	Doi T, Ishikawa T, Okayama T, et al	消化器内科	The JAK/STAT pathway is involved in the upregulation of PD-L1 expression in pancreatic cancer cell lines.	Oncol Rep. 2017 Mar; 37: 1545-1554	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
27	Murakami T, Kamada K, Mizushima K, et al	消化器内科	Changes in Intestinal Motility and Gut Microbiota Composition in a Rat Stress Model.	Digestion. 2017 Jan; 95: 55-60	Original Article
28	Mitsuyoshi H, Yasui K, Hara T, et al	消化器内科	Hepatic nucleotide binding oligomerization domain-like receptors pyrin domain-containing 3 inflammasomes are associated with the histologic severity of non-alcoholic fatty liver disease.	Hepato Res. 2017 Feb (オンライン)	Original Article
29	Ariyoshi Makoto, Katane M, Hamase K, et al	循環器内科	D-Glutamate is metabolized in the heart mitochondria.	Science Reports. 2017 Mar 7;7:43911. オンライン	Original Article
30	Zen Kan, Takahara M, Iida O, et al	循環器内科	Drug-eluting stenting for femoropopliteal lesions, followed by cilostazol treatment, reduces stent restenosis in patients with symptomatic peripheral artery disease.	Journal of Vascular Surgery. 2017 Mar;65(3):720-725.	Original Article
31	Kaimoto Satoshi, Hoshino A, Ariyoshi M, et al	循環器内科	Activation of PPAR- α in the early stage of heart failure maintained myocardial function and energetics in pressure-overload heart failure.	American Journal of Physiology- Heart and Circulation Physiology. 2017 Feb 1;312(2):H305-H313.	Original Article
32	Yanishi Kenji, Nakamura T, Nakanishi N, et al	循環器内科	A Simple Risk Stratification Model for ST-Elevation Myocardial Infarction (STEMI) from the Combination of Blood Examination Variables: Acute Myocardial Infarction-Kyoto Multi-Center Risk Study	PLoS One. 2016 Nov 11;11(11):e0166391. オンライン	Original Article
33	Kadoya Yoshito, Yamano M, Matoba S.	循環器内科	Sludge in a giant left atrium	BMJ Case Report. 2016 Oct 18;2016.	Case report
34	Taniguchi Takuya, Maruyama N, Ogata T, et al	循環器内科	PTRF/Cavin-1 Deficiency Causes Cardiac Dysfunction Accompanied by Cardiomyocyte Hypertrophy and Cardiac Fibrosis.	PLoS One. 2016 Sep 9;11(9):e0162513. オンライン	Original Article
35	Nakanishi Naohiko, Ogata T, Naito D, et al	循環器内科	MURC deficiency in smooth muscle attenuates pulmonary hypertension.	Nature Communications. 2016 Aug 22;7:12417. オンライン	Original Article
36	Nishi Masahiro, Zen K, Yamaguchi S, et al	循環器内科	Popliteal artery aneurysm treated with implantation of a covered stent graft (fluency®) reinforced with a nitinol stent (S.M.A.R.T. ®)	Cardiovascular Intervention and Therapeutics. 2016 Oct;31(4):316-20.	Case report
37	Yuhei Kirita	腎臓内科	Preserved Nephrogenesis Following Partial Nephrectomy in Early Neonates.	Scientific Reports. 2016; 6: 26792.	Original Article
38	Kazumi Komaki	腎臓内科	Lower blood pressure and risk of cisplatin nephrotoxicity: a retrospective cohort study.	BMC Cancer. 2017; 17(1): 144.	Original Article
39	Ryo Ishida	腎臓内科	Hematopoietic Stem Cell Transplantation Nephropathy Associated with Chronic Graft-versus-Host Disease without Extrarenal Involvement.	Internal Medicine. 2016; 55(19): 2837- 2842.	Case report
40	Tomohiro Nakata	腎臓内科	Steroid-resistant nephrotic syndrome as the initial presentation of nail-patella syndrome: a case of a de novo LMX1B mutation.	BMC Nephrology. 2017; 18(1): 100.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
41	Hashimoto Y	内分泌・糖尿病・代謝 内科	Postprandial hyperglycemia was ameliorated by taking metformin 30 min before a meal than taking metformin with a meal; a randomized, open-label, crossover pilot study.	Endocrine. 2016 May; 52(2): 271-276	Original Article
42	Hashimoto Y	内分泌・糖尿病・代謝 内科	Caffeine intake enhances the effect of sodium-glucose transporter 2 inhibitor.	Diabetes Metab Res Rev. 2016 Oct;32(7):694-699	Original Article
43	Hashimoto Y	内分泌・糖尿病・代謝 内科	Impact of low-carbohydrate diet on body composition: meta-analysis of randomized controlled studies.	Obes Rev. 2016 Jun;17(6):499-509	Original Article
44	Hashimoto Y	内分泌・糖尿病・代謝 内科	BMI history and risk of incident fatty liver: a population-based large-scale cohort study.	Eur J Gastroenterol Hepatol. 2016 Oct;28(10):1188-1193	Original Article
45	Hashimoto Y	内分泌・糖尿病・代謝 内科	The relationship between hepatic steatosis and skeletal muscle mass index in men with type 2 diabetes.	Endocr J. 2016 Oct 29;63(10):877-884	Original Article
46	Kimura T	内分泌・糖尿病・代謝 内科	Sodium-chloride Difference and Metabolic Syndrome: A Population-based Large-scale Cohort Study.	Intern Med. 2016;55(21):3085-3090	Original Article
47	Kitagawa N	内分泌・糖尿病・代謝 内科	Which measurement of blood pressure is more associated with albuminuria in patients with type 2 diabetes; Central blood pressure or peripheral blood pressure?	J Clin Hypertens (Greenwich). 2016 Aug;18(8):790-795	Original Article
48	Fukuda T	内分泌・糖尿病・代謝 内科	The impact of non-alcoholic fatty liver disease on incident type 2 diabetes mellitus in non-overweight individuals.	Liver Int. 2016 Feb;36(2):275-283	Original Article
49	Fukuda T	内分泌・糖尿病・代謝 内科	Transient remission of non-alcoholic fatty liver disease on incident type 2 diabetes mellitus in Japanese men.	Eur J Gastroenterol Hepatol. 2016 Dec;28(12):1443-1449	Original Article
50	Fukuda Y	内分泌・糖尿病・代謝 内科	Triglycerides to high-density lipoprotein cholesterol ratio is an independent predictor of incident fatty liver; a population-based cohort study.	Liver Int. 2016 May;36(5):713-720	Original Article
51	Mizutani Shinsuke	血液内科	Quadruple Cancers of Non-producing Multiple Myeloma, Cholangiocellular Carcinoma, and Two Different Thyroid Cancers.	Intern Med. 55(9):1183-1186. 2016年5月	Original Article
52	Tatekawa shotaro	血液内科	A Novel Diagnostic and Prognostic Biomarker Panel for Endothelial Cell Damage-Related Complications in Allogeneic Transplantation.	Biol Blood Marrow Transplant. 22 (9) :1573-1581.2016年9月	Original Article
53	Mizuno Yoshimi	血液内科	Burkitt Lymphoma Preceded by Autoimmune Hemolytic Anemia due to Anti-D Antibody.	Intern Med. 55 (16): 2253-2258.2016年8月.	Original Article
54	Takimoto Tomoko	血液内科	Acute myocardial infarction as the initial thrombotic event of thrombotic thrombocytopenic purpura.	Blood Coagul Fibrinolysis. 27 (8): 948-951. 2016年12月	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
55	Toshiki Mizuno	神経内科	Evaluation of NOTCH3 Pro167Ser Variation in a Japanese Family with Cerebral Autosomal Dominant Arteriopathy with Subcortical Infarcts and Leukoencephalopathy.	Dementia and Geriatric Cognitive Disorders Extra. 6: 183-184, 2016.5	Original Article
56	Tomoyuki Ohara	神経内科	Rapid identification of Type A aortic dissection as a cause of acute ischemic Stroke.	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases. 25: 1901-1906, 2016.5	Original Article
57	Fumitoshi Niwa	神経内科	Regional cerebral blood flow in [123I]-IMP single-photon emission computed tomography and the Wechsler Memory Scale-revised in nondemented elderly subjects with subjective cognitive	Internal Medicine. 55: 3571-3578, 2016.12	Case report
58	Ryo Ohara	神経内科	Modeling drug-induced neuropathy using human iPSCs for predictive toxicology.	Clinical Pharmacology & Therapeutics. 101: 754-762, 2017.1	Case report
59	Chihiro Fujii	神経内科	Altered T cell phenotypes associated with clinical relapse of multiple sclerosis patients receiving fingolimod therapy.	Scientific Reports. 6: 35314, 2016.10	Case report
60	Yukiko Tsuji	神経内科	Does hand dominance affect peripheral nerve excitability?	Clinical Neurophysiology. 127(4): 1921-2, 2016.4	Case report
61	Hisashi Takahashi	神経内科	Myasthenic symptoms in anti-low-density lipoprotein receptor-related protein 4 antibody-seropositive amyotrophic lateral sclerosis: two case reports.	BMC Neurology. 16(1): 229, 2016.11	Case report
62	Fujii C, Kondo T; Ochi H, et al.	神経内科	Altered T cell phenotypes associated with clinical relapse of multiple sclerosis patients receiving fingolimod therapy.	Sci Rep. 2016 Oct; 18: 35314.	Original Article
63	Shuhei Komatsu	消化器外科	Circulating miR-21 as an independent predictive biomarker for chemoresistance in esophageal squamous cell carcinoma.	American journal of cancer research6(7): 1511-1523, 2016 Jul 1	Original Article
64	Nobuyuki Watanabe	消化器外科	Overexpression of YWHAZ as an independent prognostic factor in adenocarcinoma of the esophago-gastric junction.	American Journal of Cancer Research6(11): 2729-2736, 2016 Nov	Original Article
65	Katsutoshi Shoda	消化器外科	Risk stratification according to the total number of factors that meet the indication criteria for radical lymph node dissection in patients with early gastric cancer at risk for lymph node metastasis.	Annals of Surgical OncologyEpub ahead of print: -, online 2016 Sep 9	Original Article
66	Masayoshi Nakanishi	消化器外科	A study on the tolerability of capecitabine plus oxaliplatin as adjuvant chemotherapy.	Anticancer Research36(4): 1851-1854, 2016 Apr	Original Article
67	Takuma Ohashi	消化器外科	Tumor Index as a Combined Indicator of Tumor Depth and Size in Gastric Cancer.	Anticancer Research36(4): 1895-1900, 2016 Apr	Original Article
68	Tsutomu Kawaguchi	消化器外科	Prognostic Influence of the Extent of Lymph Node Dissection and Perioperative Comorbidities in Patients with Gastric Cancer.	Anticancer Research36(4): 1917-1922, 2016 Apr	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
69	Yosuke Kamada	消化器外科	Urinary 5-Aminolevulinic Acid Concentrations as a Potential Tumor Marker for Colorectal Cancer Screening and Recurrence.	Anticancer Research36(5): 2445-2450, 2016 May	Original Article
70	Shuhei Komatsu	消化器外科	Clinical Impact of Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery (LECS) on Gastric Submucosal Tumor After its Standardization.	Anticancer Research36(6): 3041-3047, 2016 Jun	Original Article
71	Masumi Nishimura	消化器外科	Photodynamic Diagnosis of Hepatocellular Carcinoma Using 5-Aminolevulinic Acid.	Anticancer Research36(9): 4569-4574, 2016 Sep	Original Article
72	Michihiro Kudo	消化器外科	Efficacy of PET-CT in the diagnosis and treatment of recurrence after esophageal cancer surgery.	Anticancer Research36(10): 5473-5480, 2016 Oct	Original Article
73	Takuma Ohashi	消化器外科	Overexpression of PBK/TOPK contributes to tumor development and poor outcome of esophageal squamous cell carcinoma.	Anticancer research36: 6457-6466, 2016 Dec ?	Original Article
74	Masayoshi Nakanishi	消化器外科	Usefulness of Reduced Port Surgery for Left Colon Cancer.	Anticancer Research36(9): 4749-4752, 2016 Sep	Original Article
75	Katsutoshi Shoda	消化器外科	Investigation of a quality check for plasma samples.	Biochemistry & Pharmacology5(3): open access journal-, 2016 Jun 9	Original Article
76	Michihiro Kudo	消化器外科	Treatment outcomes of cervical esophageal cancer patients.	EsophagusEpub ahead of print: -, online 2016 Mar	Original Article
77	Shuhei Komatsu	消化器外科	Evaluation of prognostic value and stage migration effect using positive lymph node ratio in gastric cancer.	European journal of surgical oncology[Epub ahead of print]: -, Epub 2016 Aug 21.	Original Article
78	Noriaki Koizumi	消化器外科	Highly sensitive fluorescence detection of metastatic lymph nodes of gastric cancer with photo-oxidation of protoporphyrin IX.	European Journal of Surgical Oncology: -, online 2016 Mar 31	Original Article
79	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Successful subcarinal dissection using a laparoscopic transhiatal approach for esophageal cancer with an anomalous pulmonary vein.	General Thoracic and Cardiovascular Surgery64(4): 239-242, 2016 Apr/2016 Feb 8 online	Case report
80	Jun Kiuchi	消化器外科	Putative risk factors for postoperative pneumonia which affects poor prognosis in patients with gastric cancer.	International Journal of Clinical Oncology: -, 2016 May 12. [Epub ahead of print]	Original Article
81	Tsutomu Kawaguchi	消化器外科	Circulating microRNAs: A next-generation clinical biomarker for digestive system cancers.	International Journal of Molecular Sciences17(9): pii: E1459-, 2016 Sep 1	Review
82	Michihiro Kudo	消化器外科	Inhibition of regulatory volume decrease enhances the cytotoxic effect of hypotonic shock in hepatocellular carcinoma.	Journal of cancer7(11): 1524-1533, 2016 Jul 8	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
83	Taisuke Imamura	消化器外科	Reconstruction method as an independent risk factor for the postoperative decrease in hemoglobin in stage I gastric cancer.	Journal of Gastroenterology and Hepatology31(5): 959-964, 2016 May/online 2015 Nov 17	Original Article
84	Shuhei Komatsu	消化器外科	Positive Lymph Node Ratio as an Indicator of Prognosis and Local Tumor Clearance in N3 Gastric Cancer.	Journal of gastrointestinal surgery20(9): 1565-1571, 2016 Sep /Epub 2016 Jun 28	Original Article
85	Taisuke Imamura	消化器外科	Early signet ring cell carcinoma of the stomach is related to favorable prognosis and low incidence of lymph node metastasis.	Journal of Surgical Oncology114(5): 607-612, 2016 online	Original Article
86	Hitoshi Fujiwara	消化器外科	Mediastinoscope and laparoscope-assisted esophagectomy.	Journal of Visualized Surgery2: 125-131, 2016 Jul 26	Original Article
87	Hiroataka Konishi	消化器外科	Microarray technology and its applications for detecting plasma microRNA biomarkers in digestive tract cancers.	Methods in Molecular Biology1368: 99-109,	Original Article
88	Wataru Okajima	消化器外科	Circulating microRNA profiles in plasma: identification of miR-224 as a novel diagnostic biomarker in hepatocellular carcinoma independent of hepatic function.	Oncotarget7(33): 53820-53836, 2016 Jul 22 Epub	Original Article
89	Tomohiro Arita	消化器外科	Tumor exosome-mediated promotion of adhesion to mesothelial cells in gastric cancer cells.	Oncotarget7(35): 56855-56863, 2016 Jul 28	Original Article
90	Shuhei Komatsu	消化器外科	Plasma microRNA profiles: identification of miR-23a as a novel biomarker for chemoresistance in esophageal squamous cell carcinoma.	Oncotarget7(38): 62034-62048, Epub 2016 Aug 22.	Original Article
91	Yosuke Kamada	消化器外科	Intraoperative 5-aminolevulinic acid-mediated photodynamic diagnosis of gallbladder cancer: A case report.	Photodiagnosis and Photodynamic Therapy14: 74-76, 2016 Jun	Case report
92	Toshiyuki Kosuga	消化器外科	Clinical and surgical factors associated with organ/space surgical site infection after laparoscopic gastrectomy for gastric cancer.	Surgical EndoscopyPublished online Aug 09 2016: -, Published online Aug 09 2016	Original Article
93	Toshiyuki Kosuga	消化器外科	Pathologic tumor response to neoadjuvant chemotherapy in gastroesophageal cancer: what does it mean?	Translational Gastroenterology and Hepatology1: 75-, 2016 Sep 23	Others
94	Hiroaki Nagata	消化器外科	Granulocyte colony-stimulating factor-producing hepatocellular carcinoma with abrupt changes.	World Journal of Clinical Oncology7(5): 380-386, 2016 Oct 10	Review
95	Taisuke Imamura	消化器外科	Liquid biopsy in patients with pancreatic cancer: Circulating tumor cells and cell-free nucleic acids.	World Journal of Gastroenterology22(25): 5627-5641, 2016 Jul	Original Article
96	Daisuke Ichikawa	消化器外科	Laparoscopic and endoscopic co-operative surgery for non-ampullary duodenal tumors	World Journal of Gastroenterologyinpress: -,	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
97	Hidemasa Kubo	消化器外科	The Prognostic Value of Preoperative Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio in Colorectal Cancer.	World Journal of Surgery40(11): 2796-2802,	Original Article
98	Toshiya Ochiai	消化器外科	Modified high dorsal procedure for performing isolated anatomic total caudate lobectomy (with video)	World Journal of Surgical Oncology14: 132-, 2016 Apr 29	Original Article
99	Shingo Nakashima	消化器外科	Transient receptor potential melastatin 7 as an independent prognostic factor in human esophageal squamous cell carcinoma.	Anticancer Research37: 1161-1168,	Original Article
100	Sachie Tanaka	消化器外科	Cytosolic Cl ⁻ Affects the Anticancer Activity of Paclitaxel in the Gastric Cancer Cell Line, MKN28 Cell.	Cellular Physiology and Biochemistry42: 68-80,	Original Article
101	Yosuke Ariyoshi	消化器外科	Na ⁺ /H ⁺ exchanger 1 has tumor suppressive activity and prognostic value in esophageal squamous cell carcinoma.	Oncotarget8(2): 2209-2223, 2016 Nov 26	Original Article
102	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Hand-assisted technique beneficial for laparoscopic transhiatal esophagectomy with en-bloc dissection of middle and lower mediastinal lymph nodes: roles of the operator's left hand.	Esophagus14: 138-145, 2017 /Epub 2016 Sep 26	Original Article
103	Katsutoshi Shoda	消化器外科	Clinical utility of circulating cell-free Epstein-Barr virus DNA in patients with gastric cancer.	Oncotarget8(17): 28796-28804, 2017 Feb 24	Original Article
104	Hiroataka Konishi	消化器外科	Early thrombomodulin- α administration outcome for acute disseminated intravascular coagulopathy in gastrointestinal surgery.	World Journal of Gastroenterology23(5): 891-898, 2017 Feb 7	Original Article
105	Takuma Ohashi	消化器外科	Overexpression of PBK/TOPK relates to tumor malignant potential and poor outcome of gastric carcinoma.	British Journal of Cancer116(2): 218-226, 2017 Jan 17/2016 online	Original Article
106	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Expression and role of anion exchanger 1 in esophageal squamous cell carcinoma.	Oncotarget8(11): 17921-17935, 2017 Mar 14/ online 2017 Jan 30	Original Article
107	Shoichiro Hikami	消化器外科	The role of cIAP1 and XIAP in apoptosis induced by tumor necrosis factor alpha in esophageal squamous cell carcinoma cells.	Digestive Diseases and Sciences62(3): 652-659, 2017 Mar/ online 2017 Jan 03	Original Article
108	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Regulation of osmolality for cancer treatment.	The journal of physiological sciences67(3): 353-360, online 2017 Feb 10	Review
109	Ohira S, Doi K, Yaku H.	心臓血管外科	Sutureless Technique to Fix the Great Saphenous Vein along the Atrioventricular Groove Using Fibrin Glue in Off-Pump Coronary Artery Bypass Grafting.	Heart Surg Forum. 2016 Apr 5;19(2):E074-6.	Case report
110	Numata S, Itatani K, Kanda K, et al.	心臓血管外科	lysis of the aortic arch using computational	Eur J Cardiothorac Surg. 2016 Jun;49(6):1578-85.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
111	Numata S, Yamazaki S, Yaku H.	心臓血管外科	[Off and On-pump Coronary Artery Bypass; Single Institutional Analysis and National Database Analysis Using Propensity Score].	Kyobu Geka. 2016 Jul;69(8):573-80.	Original Article
112	Ohira S, Fukumoto, Matsushiro T et al.	心臓血管外科	Novel Technique Using Polyester Fabric and Fibrin Sealant Patch for Acute Aortic Dissection.	Heart Lung Circ. 2016 Aug;25(8):885-7.	Case report
113	Ohira S, Doi K, Okawa K et al.	心臓血管外科	Safety and Efficacy of Sequential Left Internal Thoracic Artery Grafting to Left Circumflex Area.	Ann Thorac Surg. 2016 Sep;102(3):766-773.	Original Article
114	Yamazaki S, Doi K, Numata S et al.	心臓血管外科	Ventricular volume and myocardial viability, evaluated using cardiac magnetic resonance imaging, affect long-term results after surgical ventricular reconstruction.	Eur J Cardiothorac Surg. 2016 Oct;50(4):704-712.	Original Article
115	Ohira S, Doi K, Numata S et al.	心臓血管外科	Single-Centre Experience of Off-Pump Multi-Vessel Coronary Artery Bypass Grafting Using Proximal Suture Device.	Heart Lung Circ. 2016 Dec 23. pii: S1443-9506(16)31739-5	Original Article
116	Ohira S, Yaku H	心臓血管外科	Impact of Incomplete Revascularization on Long-Term Outcomes in Octogenarians.	Ann Thorac Surg. 2017 Feb;103(2):687.	Original Article
117	Ohira S, Miyata H, Doi K et al	心臓血管外科	Risk model of aortic valve replacement after cardiovascular surgery based on a National Japanese Database.	Eur J Cardiothorac Surg. 2017 Feb 1;51(2):347-353	Original Article
118	Ohira S, Tanaka H, Harada Y et al.	心臓血管外科	Label-free detection of myocardial ischaemia in the perfused rat heart by spontaneous Raman spectroscopy.	Sci Rep. 2017 Feb 10;7:42401	Original Article
119	Yaku H, Ohira S, Yamazaki S et al.	心臓血管外科	Endocardial linear infarct exclusion technique for infarcted lateral wall.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2017 Mar 1;24(3):460-461	Others
120	Koichi Sakaguchi	内分泌・乳腺外科	Phase I Study of Triweekly Nab-Paclitaxel Combined with S-1 in Patients with HER2-negative Metastatic Breast Cancer.	Anticancer Res. 2016 Dec;36(12):6515-6519. PMID: 27919976	Original Article
121	Numajiri Toshiaki, Sowa Y, Nishino K, et al.	形成外科	Use of systemic low-dose unfractionated heparin in microvascular head and neck reconstruction: Influence in free-flap outcomes.	J Plast Surg Hand Surg 50: 135-141, 2016.	Original Article
122	Numajiri Toshiaki, Nakamura H, Sowa Y, et al.	形成外科	Low-cost Design and Manufacturing of Surgical Guides for Mandibular Reconstruction Using a Fibula.	Plast Reconstr Surg Glob Open 2016;4:e805	Original Article
123	Sowa Yoshihiro, Morihara T, Kushida R, et al.	形成外科	Long-term prospective assessment of shoulder function after breast reconstruction involving a latissimus dorsi muscle flap transfer and postoperative radiotherapy.	Breast Cancer 24:362-368, 2016.	Original Article
124	Sowa Yoshihiro, Numajiri T, Itsukage S, et al.	形成外科	Comparison of Shear-Wave and Strain Ultrasound Elastography for Evaluating Fat Induration after Breast Reconstruction.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2016;4:e677	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
125	Sowa Yoshihiro, Numajiri T, Kawarazaki A, et al.	形成外科	eventive effects on seroma formation with use of the harmonic focus shears after breast reconstruction with the latissimus dorsi flap.	J Plast Surg Hand Surg 50:349-353, 2016.	Original Article
126	Sowa Yoshihiro, Kishida T, Imura T, et al.	形成外科	Adipose-Derived Stem Cells Promote Peripheral Nerve Regeneration In Vivo without Differentiation into Schwann-Like Lineage.	Plast Reconstr Surg 137:318e-330e, 2016.	Original Article
127	Sowa Y, Kishida T, Tomita K, et al.	形成外科	Direct conversion of human fibroblasts into Schwann cells that facilitate regeneration of injured peripheral nerve in vivo.	Stem Cells Transl Med. 2017 Jan; 6: 1207-16.	Original Article
128	Takuya Kawabe	脳神経外科	Gamma Knife radiosurgery for brain metastases from pulmonary large cell neuroendocrine carcinoma: a Japanese multi-institutional cooperative study (JLGK1401).	Journal of Neurosurgery. 2016 Dec; 125 (Suppl 1):11-17	Original Article
129	Motoyuki Horii	整形外科	Differences in monthly variation, cause, and place of injury between femoral neck and trochanteric fractures: 6-year survey (2008-2013) in Kyoto prefecture, Japan.	Clinical Cases Mineral and Bone Metabolism 13(1):19-24. 2016.5	Original Article
130	Hiroyuki Kan	整形外科	Radiographic Measurement of Joint Space Width Using the Fixed Flexion View in 1,102 Knees of Japanese Patients with Osteoarthritis in Comparison with the Standing Extended View.	Knee Surgery & Related Research, 29(1):63-68. 2017.3	Original Article
131	Suzuyo Ohashi	整形外科	Two-stage correction using the Taylor Spatial Frame for severe hindfoot deformity in a patient with Marfan syndrome: A case report.	Journal of Orthopaedic Science, pii: S0949- 2658(16)30219-6. 2017.2	Case report
132	Hitoshi Tonomura	整形外科	Magnetic Resonance Imaging Evaluation of the Effects of Surgical Invasiveness on Paravertebral Muscles After Muscle-preserving Interlaminar Decompression (MILD).	Clinical Spine Surgery, 30(2):E76-E82. 2017.3	Original Article
133	Hiroyuki Kan	整形外科	Medial and Lateral Discoid Menisci of Both Knees.	Knee Surgery & Related Research, 28(4):330-333. 2016.12	Case report
134	Yukichi Kabuto	整形外科	Arthroscopic decompression with indigo carmine for treating paralabral cysts in the shoulder.	Orthopaedics & Traumatology: Surgery & Research, 102(8):1109-1111. 2016.9	Case report
135	Daigo Taniguchi	整形外科	Recurrence of deformity after silicone implant and resection arthroplasty of the metatarsophalangeal joint for rheumatoid arthritis: long-term results.	Modern Rheumatology, 27(2):266-270.2017.3	Original Article
136	Masateru Nagae	整形外科	Dislodgement and gastrointestinal tract penetration of bone cement used for spinal reconstruction after lumbosacral vertebral tumor excision: A case report.	Medicine(Baltimore), 95(42):e5178. 2016.12	Case report
137	Takashi Yoshida	整形外科	Acetabular anteversion angle from early stage of Perthes disease to adolescence	Journal of Orthopaedics, 29;13(4):410-3. 2016.8	Original Article
138	Shuji Nakagawa	整形外科	Comparative Effects of Periarticular Multimodal Drug Injection and Single-Shot Femoral Nerve Block on Pain Following Total Knee Arthroplasty and Factors Influencing Their Effectiveness.	Knee Surgery & Related Research, 28(3):233-8. 2016.8	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
139	Toshihiro Hosokawa	整形外科	Spontaneous flexor tendon rupture due to an insufficiency fracture of the hamate hook in a patient with systemic lupus erythematosus: A case report.	International Journal of Surgery Case Reports, 27:63-65. 2016.7	Case report
140	Yoshikazu Kida	整形外科	Prevalence of posterior elbow problems in Japanese high school baseball players.	Journal of Shoulder and Elbow Surgery, 25(9):1477-84. 2016.9	Original Article
141	Shohei Ichimaru	整形外科	Hypoxia Potentiates Anabolic Effects of Exogenous Hyaluronic Acid in Rat Articular Cartilage	International Journal of Molecular Sciences, 17(7). pii: E1013. 2016.6	Original Article
142	Toshiharu Shirai	整形外科	The outcomes of reconstruction using frozen autograft combined with iodine-coated implants for malignant bone tumors: compared with non-coated implants.	Japanese Journal of Clinical Oncology, 46(8):735-40. 2016.5	Original Article
143	Toshikazu Kubo	整形外科	Clinical and basic research on steroid-induced osteonecrosis of the femoral head in Japan.	Journal of Orthopaedic Science, 1(4):407-413. 2016.7	Review
144	Masazumi Saito	整形外科	Alcohol-associated osteonecrosis of the femoral head with subsequent development in the contralateral hip: A report of two cases.	Journal of Orthopaedic Science, 21(6):870-874. 2016.11	Case report
145	Ryo Oda	整形外科	Spontaneous flexor tendon rupture in systemic lupus erythematosus: A case report.	Modern Rheumatology, 26(5):794-7. 2016.9	Case report
146	Khan KN, Fujishita A, Masumoto H, Muto H, Kitajima M, Masuzaki H, Kitawaki J.	産婦人科	Molecular detection of intrauterine microbial colonization in women with endometriosis.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol 199:69-75, 2016.	Original Article
147	Ito F, Mori T, Takaoka O, Tanaka Y, Koshiba A, Tatsumi H, Iwasa K, Kitawaki J.	産婦人科	Effects of drospirenone on adhesion molecule expression and monocyte adherence in human endothelial cells.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol 201:113-117, 2016.	Original Article
148	Matsushima H, Mori T, Ito F, Yamamoto T, Akiyama M, Kokabu T, Yoriki K, Umemura S, Akashi	産婦人科	Anti-tumor effect of estrogen-related receptor alpha knockdown on uterine endometrial cancer.	Oncotarget 7(23):34131-34148, 2016.	Original Article
149	Khan KN, Fujishita A, Kitajima M, Masuzaki H, Nakashima M, Kitawaki J.	産婦人科	Biological differences between functionalis and basalis endometria in women with and without adenomyosis.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol 203:49-55, 2016.	Original Article
150	Tanaka Y, Mori T, Ito F, Koshiba A, Kusuki I, Kitawaki J.	産婦人科	Effects of low-dose combined drospirenone-ethinylestradiol on perimenstrual symptoms experienced by women with endometriosis.	Int J Gynaecol Obstet 135(2):135-139, 2016.	Original Article
151	Aoyama K, Matsushima H, Sawada M, Mori T, Yasukawa S, Kitawaki J.	産婦人科	Apocrine Adenocarcinoma of the Vulva: A Case Report and Review of the Literature.	Case Rep Obstet Gynecol 2016; 2016:1712404.	Case report
152	Tsukasaki N, Mori T, Yasukawa S, Konishi E, Kokabu T, Kitawaki J.	産婦人科	Primary osteosarcoma of the uterine corpus: A case report.	J Obstet Gynaecol Res 42:1604-1608, 2016.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
153	Mayumi Ueta	眼科	Intravital imaging of the cellular dynamics of LysM-positive cells in a murine corneal suture model.	Br J Ophthalmol. 100(3): 432-435, 2016. 3月	Original Article
154	Morio Ueno	眼科	Concomitant Evaluation of a Panel of Exosome Proteins and MiRs for Qualification of Cultured Human Corneal Endothelial Cells.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 57(10): 4393-4402, 2016. 8月	Original Article
155	Morio Ueno	眼科	Gene Signature-Based Development of ELISA Assays for Reproducible Qualification of Cultured Human Corneal Endothelial Cells.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 57(10): 4295-4305, 2016. 8月	Original Article
156	Morio Ueno	眼科	MicroRNA Profiles Qualify Phenotypic Features of Cultured Human Corneal Endothelial Cells.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 57(13): 5509-5517, 2016. 10月	Original Article
157	Munetoyo Toda	眼科	The Different Binding Properties of Cultured Human Corneal Endothelial Cell Subpopulations to Descemet's Membrane Components.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 57(11): 4599-605, 2016. 9月	Original Article
158	Kazuhiko Mori	眼科	Stronger Association of CDKN2B-AS1 Variants in Female Normal-Tension Glaucoma Patients in a Japanese Population.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 57(14): 6416-6417, 2016. 11月	Original Article
159	Takahiro Nakamura	眼科	Development of functional human oral mucosal epithelial stem/progenitor cell sheets using a feeder-free and serum-free culture system for ocular surface reconstruction.	Sci Rep. 6: 37173, 2016. 11月	Original Article
160	Akhide Watanabe	眼科	Clinico-radiological features of primary lacrimal gland pleomorphic adenoma: an analysis of 37 cases.	Jpn J Ophthalmol. 60(4): 286-293, 2016. 7月	Original Article
161	Yukiyasu Arakawa	皮膚科	Three hundred and eight nanometer excimer light therapy for alopecia universals that is resistant to other treatments: A clinical study of 11 patients.	Journal of Dermatology 43(12): 1412-1416, December 2016	Original Article
162	Keiji Ogari	皮膚科	Subcutaneous fat necrosis due to molecular-targeted therapy.	Journal of Dermatology 44(3); e7-e8, March 2017	Letter
163	Hideo Nakagawa	泌尿器科	Androgen suppresses testicular cancer cell growth in vitro and in vivo	Oncotarget 35224-32 2016	Original Article
164	Yasuyuki Naitoh	泌尿器科	Transvesical laparoscopic surgery for double renal pelvis and ureter with or without ureterocele.	Int J Urol. 2016 Apr;23(4):332-6	Original Article
165	Jun Fujiwara	泌尿器科	The anti-obesity drug orlistat promotes sensitivity to TRAIL by two different pathways in hormone-refractory prostate cancer cells.	Int J Oncol. 2016 Feb;48(2):854.	Original Article
166	Teru Nakamura	泌尿器科	Post-chemotherapy laparoscopic retroperitoneal lymph node dissection is feasible for stage IIA/B non-seminoma germ cell tumors.	Int J Clin Oncol. 2016 Aug;21(4):791-5	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
167	Seijiro Toriyama	泌尿器科	A Histone Deacetylase Inhibitor, OBP-801, and Celecoxib Synergistically Inhibit the Cell Growth with Apoptosis via a DR5-Dependent Pathway in Bladder Cancer Cells.	Mol Cancer Ther. 2016 Sep;15(9):2066-75.	Original Article
168	Fumiya Hongo	泌尿器科	Editorial Comment from Dr Hongo to Robot-assisted partial nephrectomy confers excellent long-term outcomes for the treatment of complex cystic renal tumors: Median follow up of 58 months.	Int J Urol. 2016 Dec;23(12):982-983.	Letter
169	Yasuhiro Yamada	泌尿器科	Laparoendoscopic Single-Site Surgery for Pediatric Urologic Disease.	J Endourol. 2016 Jan;30(1):24-7.	Original Article
170	平野 滋	耳鼻咽喉科	Regenerative Effects of Local Injection of Basic Fibroblast Growth Factor into the Vocal Fold Atrophy and Scarring: Results of 60 Cases.	Ann Clin Otolaryngol 2017;1(1):1-4.	Original Article
171	安田 誠	耳鼻咽喉科	A case of recurrent malignant triton tumor successfully treated with radiotherapy.	Auris Nasus Larynx. 2016 Dec;43(6):710-4	Case report
172	Atsumi Minamisawa	精神科・心療内科	Evaluation of factors associated with psychiatric patient dropout at a university outpatient clinic in Japan.	Patient Preference and Adherence. 2016 Sep 20; 10:1903-1911.	Original Article
173	Nobutaka Ayani	精神科・心療内科	The epidemiology of adverse drug events and medication errors among psychiatric inpatients in Japan: the JADE study.	BMC Psychiatry. 2016 Aug 30; 16:303.	Original Article
174	Sato O, Yoshikawa T, Asai S, et al.	放射線科	Identifying the appendicular vein on computed tomography for the diagnosis of perforated acute appendicitis.	JJDI.2016 Sep;34:135-142.	Original Article
175	Yamazaki H, Demizu Y, Okimoto T, et al.	放射線科	Comparison of re-irradiation outcomes for charged particle radiotherapy and robotic stereotactic radiotherapy using cyberknife for recurrent head and neck cancers: A multi-institutional matched-cohort	Anticancer Res. 2016 Oct;36(10):5507-5514.	Original Article
176	Yamazaki H, Ogita M, Himei K, et al.	放射線科	Reirradiation using robotic image-guided stereotactic radiotherapy of recurrent head and neck cancer.	J Radiat Res. 2016 Jun;57(3):288-93. doi: 10.1093/jrr/rrw004. Epub 2016 Mar 16.	Original Article
177	Yamazaki H, Nakamura S, Suzuki G, et al.	放射線科	In Regard to Phan et al.	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2017 Mar 15;97(4):868.	Original Article
178	Suzuki G, Yamazaki H, Takenaka H, et al.	放射線科	Definitive Radiation Therapy for Angiosarcoma of the Face and Scalp.	In Vivo. 2016 11-12;30(6):921-926.	Original Article
179	Yamazaki H, Fushiki M, Mizowaki T.	放射線科	A surveillance study of the current status of reirradiation and patterns of practice.	J Radiat Res. 2017 Jan;58(1):71-78.	Original Article
180	Ogata T, Uehara K, Nakayama M, et al.	放射線科	Polarity correction factor for flattening filter free photon beams in several cylindrical ionization chambers.	Radiol Phys Technol. 2016 Jul;9(2):187-92.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
181	Ogata T, Nishimura H, Mayahara H, et al.	放射線科	A dosimetric comparison of volumetric modulated arc therapy (VMAT) with unflattened beams to VMAT with flattened beams and tomotherapy for head and neck cancer.	J Nucl Med Radiat Ther. 2016 Sep;7:274.	Original Article
182	Sawa Teiji	麻酔科	Pseudomonas aeruginosa type III secretory toxin ExoU and its predicted homologs	Toxins. 2016 Nov; 8(11)	Original Article
183	Sawa Teiji	麻酔科	Effective evaluation of arterial pulse waveform analysis by two-dimensional stroke volume variation-stroke volume index plots	J Clin Monit Comput. 2016 Aug 4	Original Article
184	Sawa Teiji	麻酔科	Cellular Stress Responses and Monitored Cellular Activities	Shock. Aug;46(2):113-21	Original Article
185	Nakayama Yoshinobu	麻酔科	A Practical Training Program for Peripheral Radial Artery Catheterization in Adult Patients: A Prospective, Randomized Controlled Trial	Anesthesiology. October 2016;125:716-23.	Original Article
186	Hashimoto Satoru	麻酔科	ARDS clinical practice guideline committee from the Japanese Society of Respiratory Care Medicine and the Japanese Society of Intensive Care Medicine. The clinical practice guideline for the management of	J intensive Care. 2017 Jul 25;5:50	Original Article
187	Shimizu Masaru	麻酔科	Protective effects of intravenous immunoglobulin and antimicrobial agents on acute pneumonia in leukopenic mice	Journal, of Infection and Chemotherapy 2016 Apr;22(4):240-7	Original Article
188	Iehara T, Yagyu S, Tsuchiya K, et al.	小児科	Residual tumor in cases of intermediate-risk neuroblastoma did not influence the prognosis	Jpn J Clin Oncol. 2016 Jul	Original Article
189	Iehara T, Tomoyasu C, Nakajima H, et al.	小児科	Traumatic herniation of the buccal fat pad.	Pediatr Int. 2016 Jul	Case report
190	Yagyu S, Iehara T, Tanaka S, et al.	小児科	Serum-Based Quantification of MYCN Gene Amplification in Young Patients with Neuroblastoma: Potential Utility as a Surrogate Biomarker for Neuroblastoma.	PLoS One. 2016 Aug.	Original Article
191	Tsuma Y, Miyachi M, Ouchi K, et al.	小児科	Neoadjuvant Treatment With Cyclooxygenase-2 Inhibitor and Prednisolone Allows Conservative Surgery for Inflammatory Myofibroblastic Tumor of the Bladder.	J Pediatr Hematol Oncol. 2016 Nov.	Case report
192	Akioka S	小児科	A hereditary clue for the development of cutaneous polyarteritis nodosa in siblings.	Mod Rheumatol. 2016 Oct	Letter
193	Imamura T, Kiyokawa N, Kato M, et al.	小児科	Characterization of pediatric Philadelphia-negative B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia with kinase fusions in Japan	Blood Cancer J. 2016 May.	Original Article
194	Imamura T, Yano M, Asai D, et al.	小児科	IKZF1 deletion is enriched in pediatric B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia patients showing prednisolone resistance	Leukemia. 2016 Aug.	Letter

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
195	Sakamoto K, Tanaka S, Tomoyasu C, et al.	小児科	Development of acute lymphoblastic leukemia with IgH-EPOR in a patient with secondary erythrocytosis.	Int J Hematol. 2016 Dec.	Case report
196	Sakamoto K, Imamura T, Kanayama T, et al.	小児科	Ph-like acute lymphoblastic leukemia with a novel PAX5-KIDINS220 fusion transcript.	Genes Chromosomes Cancer.2016.Nov.	Original Article
197	Kano G, Tsujii H, Takeuchi K, et al.	小児科	Whole-exome sequencing identification of novel DNAH5 mutations in a young patient with primary ciliary dyskinesia	Mol Med Rep 2016 Dec	Case report
198	Kano G, Bochner BS, Zimmermann N, et al.	小児科	Regulation of Siglec-8-induced intracellular reactive oxygen species production and eosinophil cell death by Src family kinases	Immunobiology 2016 Sep.	Original Article
199	Mori J, Kaneda D, Fujiki A, et al.	小児科	Swyer-James syndrome in a 7-year-old female.	Pediatric Reports 2016 Oct.	Case report
200	Kodo K, Sugimoto S, Nakajima H, et al.	小児科	Erythropoietin (EPO) ameliorates obesity and glucose homeostasis by promoting thermogenesis and endocrine function of classical brown adipose tissue (BAT) in diet-induced obese mice.	PLoS One. 2017 Mar.	Original Article
201	Sakaue S, Kasai T, Mizuta I, et al.	小児科	Early-onset parkinsonism in a pedigree with phosphoglycerate kinase deficiency and a heterozygous carrier: do PGK-1 mutations contribute to vulnerability to parkinsonism?	NPJ Parkinsons Dis. 2017 Mar 31	Case report
202	家原 知子	小児外科	Residual tumor in cases of intermediate-risk neuroblastoma did not influence the prognosis.	Japanese Journal of Clinical Oncology Epub 2016 May 20.	Original Article
203	文野 誠久	小児外科	Surgical intervention and perioperative risk factors of retroperitoneal teratomas in children: a single institution experience.	Pediatric Surgery International Epub 2016 Jul 30.	Original Article
204	田中 智子	小児外科	MEK inhibitors as a novel therapy for neuroblastoma: Their in vitro effects and predicting their efficacy.	Journal of Pediatric Surgery Epub 2016 Sep 16.	Original Article
205	木村 幸積	小児外科	Tumor-homing effect of human mesenchymal stem cells in a TH-MYCN mouse model of neuroblastoma.	Journal of Pediatric Surgery Epub 2016 Sep 17.	Original Article
206	Nobuyasu Kato	小児心臓血管外科	A Novel Surgical Technique for Right-Sided Interrupted Aortic Arch by Interposition of a Pulmonary Autograft Tube	Ann Thorac Surg 2016 Aug;102:e125-7	Case report
207	Eijiro Yamashita	小児心臓血管外科	Smaller-Sized Expanded Polytetrafluoroethylene Conduits With a Fan-Shaped Valve and Bulging Sinuses for Right Ventricular Outflow Tract Reconstruction	Ann Thorac Surg 2016 Oct;102:1336-44	Original Article
208	Ichioka H, Yamamoto T, Yamamoto K, et al.	歯科	Biomechanical force induces the growth factor production in human periodontal ligament-derived cells.	Odontology. 2016 Jan; 104: 27-34.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
209	Amemiya T, Endo Y, Asai T, et al.	歯科	Development of human periosteal-derived cell sheets cultured on an amniotic membrane substrate.	Jpn J Conserv Dent. 2016 Oct; 59: 394-401.	Original Article
210	Yamamoto K, Sato Y, Honjo K, et al.	歯科	Generation of directly converted human osteoblasts that are free of exogenous gene and xenogenic protein.	J Cell Biochem. 2016 Nov; 117: 2538-45.	Original Article
211	Shirasugi M, Nishioka K, Yamamoto T, et al.	歯科	Normal human gingival fibroblasts undergo cytoostasis and apoptosis after long-term exposure to butyric acid.	Biochem Biophys Res Commun. 2017 Jan; 482: 1122-8.	Original Article
212	Tohru Inaba	臨床検査部	Abnormal neutrophil scattergram obtained using Pentra MS CRP in the patients with myelodysplastic syndrome showing dysgranulopoiesis	International Journal of Laboratory Hematology 2016 Jan; 38: 27-33	Original Article
213	Tetsuhiro Yamano	臨床検査部	"Hamstring Leaflet" Now Demonstrated to Be a Determinant of Functional Mitral Regurgitation in Patients With Atrial Fibrillation	Circulation Journal 2016 Oct; 80:2098-9.	Others
214	Tohru Inaba	臨床検査部	Basic utility of Pentra series automated hematology analyzer for screening of Jordans' anomaly.	International Journal of Laboratory Hematology 2017 Jan; 39: e1-e3 (オンライン)	Letter

小計 6

計 214件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、または et al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Itoh Norihide, Tanabe Shigeo, Hirano Satoshi et al	リハビリテーション科	Changes in postural strategy during exercise against perturbation using the balance exercise assist robot: a pilot study.	J Phys Ther Sci. 2017 年1月	Original Article

計 1件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 学長の業務、研究者等の責務等、研究責任者の業務、他機関への既存試料・情報等の提供、審査委員会の事務・審査記録の保存、講習の受講、データベースへの登録	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

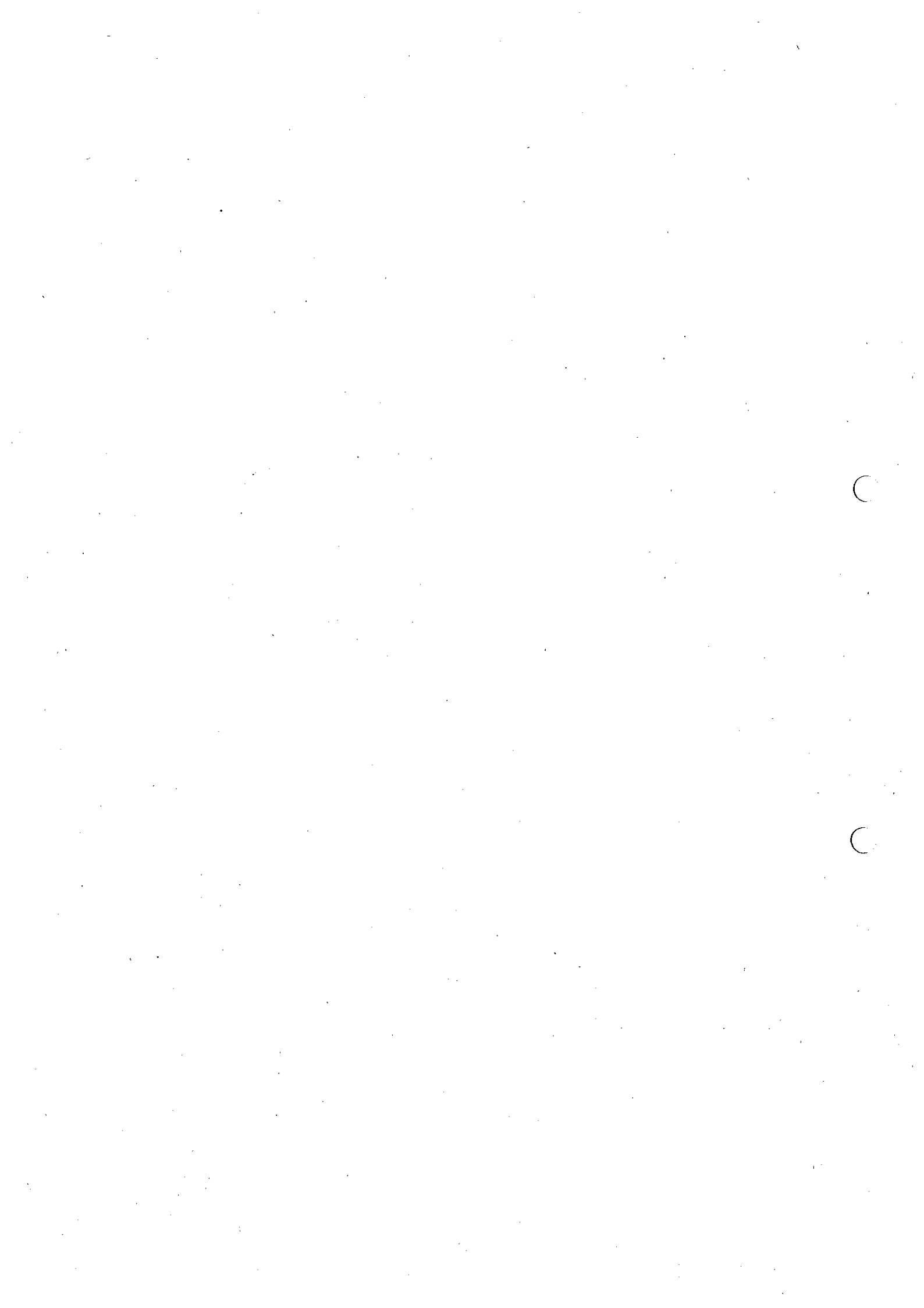
① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 「京都府公立大学法人の利益相反の管理に関する規程」… 利益相反の管理や判断基準等を規定 「京都府立医科大学利益相反委員会規程」… 設置目的や組織編成等について規定 「京都府立医科大学臨床研究に係る利益相反の管理に関する取扱規程」 … 臨床研究における利益相反の管理について規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	概ね年6回 (書類審査を含む)

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年18回 録画上映会を含む
・ 研修の主な内容 「研究倫理に関する基礎研修」 「研究公正を考える ～医学研究に関連して～」 「臨床研究と日常診療をどう区別するか」 「メタアナリシスの方法と解釈」	

(注) 前年度の実績を記載すること。



(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科において、専門医・認定医取得のための高度な医療知識・スキルを習得させる。
(プログラムは各科ごとに作成)

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 191人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山口 寛二	消化器内科	助教(学内講師)	20年	
中村 猛	循環器内科	助教(学内講師)	22年	
草場 哲郎	腎臓内科	助教(学内講師)	18年	
金子 美子	呼吸器内科	助教	17年	
山崎 真裕	内分泌・糖尿病・代謝内科	講師	21年	
志村 勇司	血液内科	助教(学内講師)	21年	
和田 誠	膠原病・リウマチ・アレルギー科	助教	19年	
齋藤 光象	神経内科(老年内科)	助教	11年	
中西 正芳	消化器外科	准教授	24年	
沼田 智	心臓血管外科	助教(学内講師)	22年	
宮崎 隆子	小児心臓血管外科	助教	21年	
加藤 大志朗	呼吸器外科	講師	28年	
大内 佳美	内分泌・乳腺外科	助教	10年	
飯田 拓	移植・一般外科	講師	20年	
古川 泰三	小児外科	講師	22年	
沼尻 敏明	形成外科	准教授	21年	
立澤 和典	脳神経外科	講師	23年	
白井 寿治	整形外科	准教授	21年	
楠木 泉	産婦人科	病院准教授	26年	
今村 俊彦	小児科	講師	23年	
米田 一仁	眼科	助教	17年	
浅井 純	皮膚科	講師	16年	
牛嶋 壮	泌尿器科	助教(学内講師)	21年	
新井 啓仁	耳鼻咽喉科	助教	14年	
阿部 能成	精神科・心療内科	助教	7年	
高畑 暁子	放射線科	助教	16年	
石井 祥代	麻酔科	助教	13年	
深澤 圭太	疼痛・緩和ケア科	助教(学内講師)	22年	
沢田 光思郎	リハビリテーション科	助教(学内講師)	14年	
金村 成智	歯科	病院教授	33年	
太田 凡	救急医療科	教授	29年	
小西 英一	病理診断科	病院教授	31年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

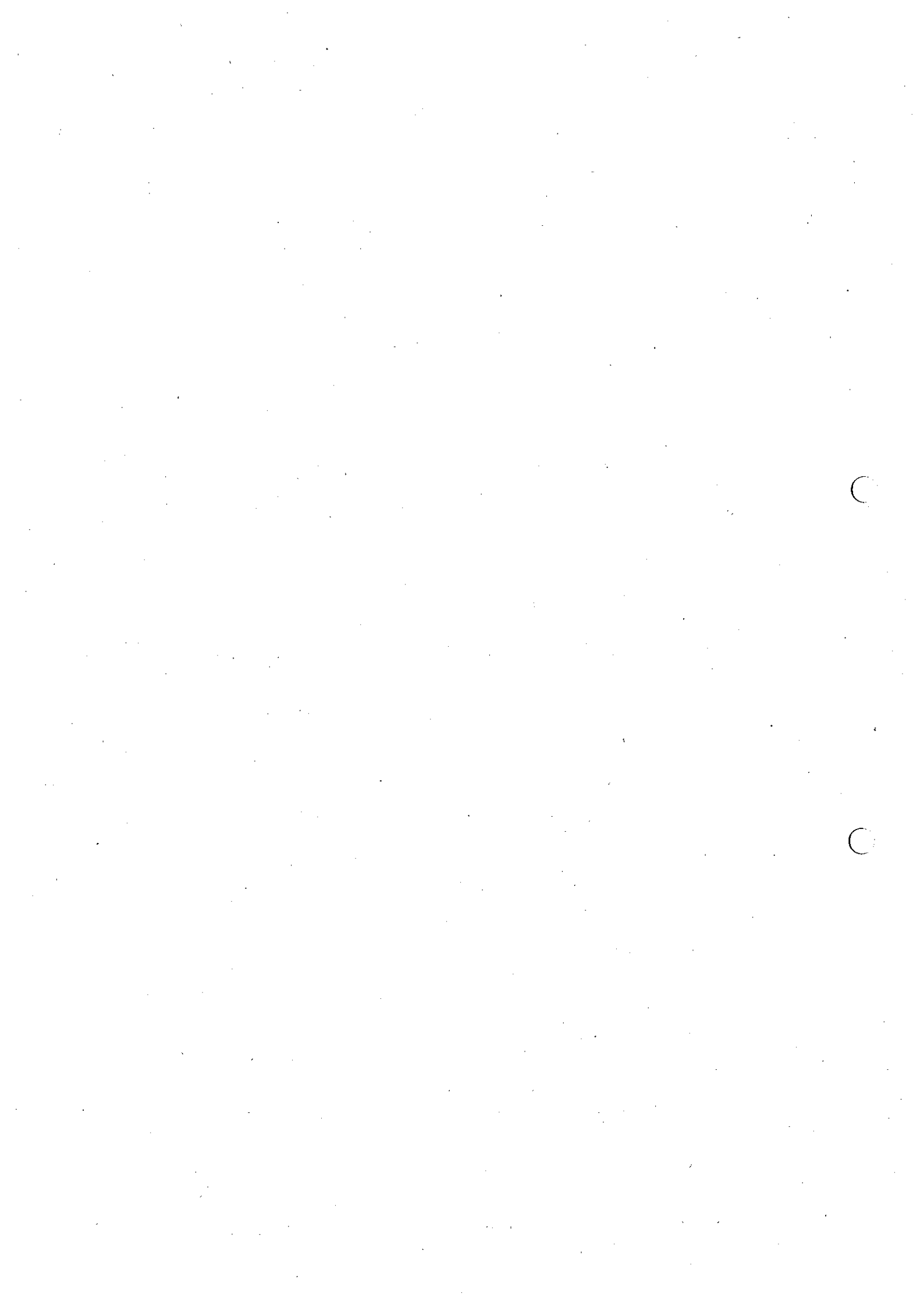
高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況 (任意)
<ul style="list-style-type: none">○ 輸血療法研修会：「安全な輸血療法のために」 20分 x 4回実施、参加人数 150名○ 看護師輸血勉強会：「安全な輸血療法の実際」 90分 x 2回実施、参加人数 30名 (中央手術部、こども西病棟)○ NST研修会：「胃癌術後補助化学療法 of 最新トピックス」ほか 8回/年 合計参加人数 149名○ 管理栄養士研修会：「栄養ケアプロセス」ほか 8回/年 合計参加人数 103名
② 業務の管理に関する研修の実施状況 (任意)
<ul style="list-style-type: none">○ 診療報酬改定 2回 合計参加人数 14名○ 栄養指導記録の記載方法・検討会 6回 合計参加人数 77名○ 栄養指導症例検討 2回 合計参加人数 24名○ 感染対策勉強会 1回 参加人数 14名○ 災害時備蓄について 1回 参加人数 14名
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">○ 心臓リハビリテーションに関する研修 10回/年 研修の参加人数：10人

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。



(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

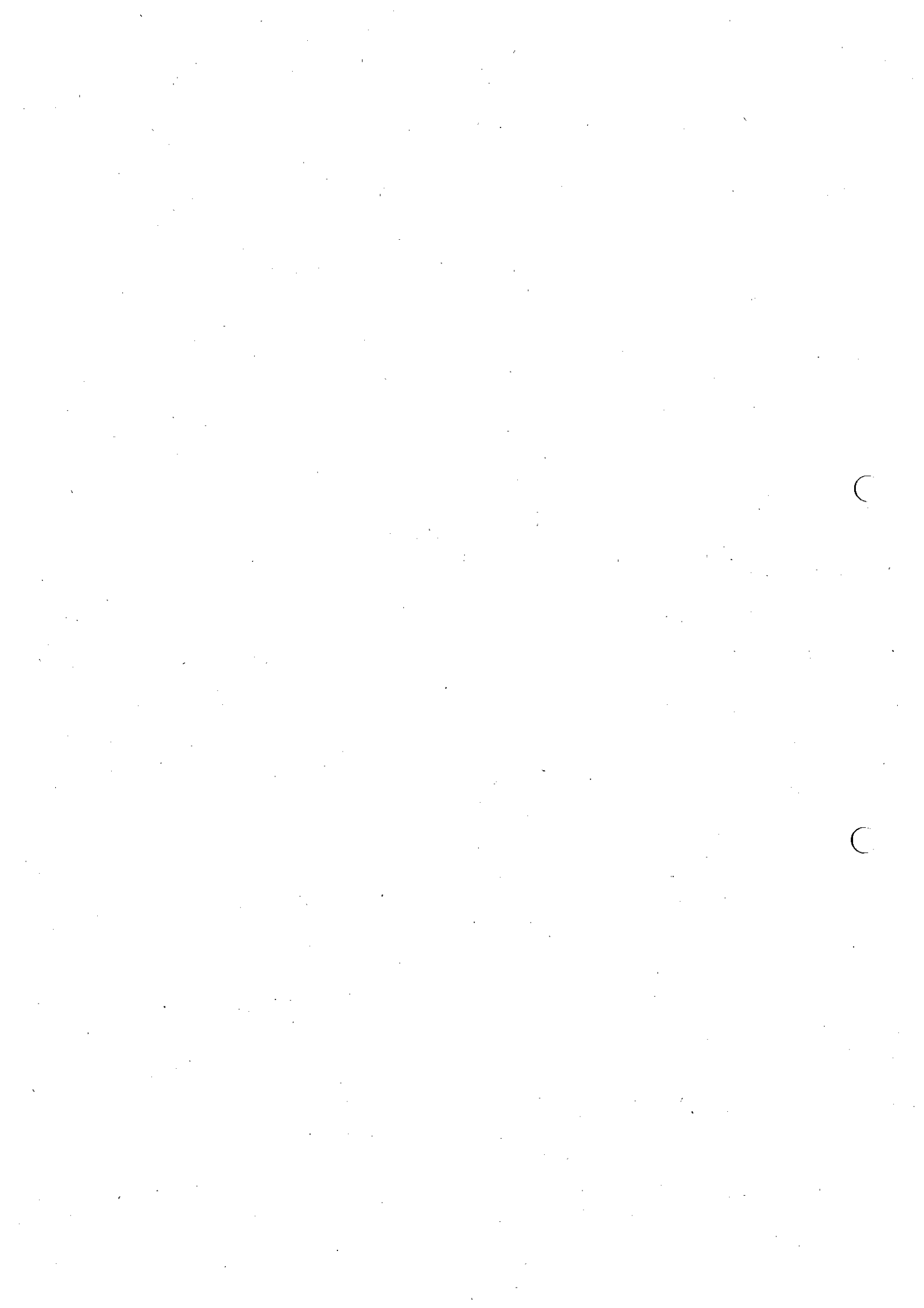
計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 北脇 城
管理担当者氏名	事務部長 藤井 和男

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	診療情報管理室 病棟 調剤室 フィルム庫 病院管理課
		各科診療日誌	
		処方せん	
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	経営企画課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課
		高度の医療の研修の実績	病院管理課
		閲覧実績	病院管理課
		紹介患者に対する医療提供の実績	経営企画課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画課 薬剤部
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		<p>・平成20年1月から電子カルテシステムを導入し、電子データでの管理を行っている。</p> <p>・紙カルテ（手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等）は、診療情報管理室に保管。</p> <p>・処方箋は調剤室に、エックス線フィルムはフィルム庫保管。</p> <p>※診療録を病院外に持ち出すことは「診療記録貸出・返却要領」で禁止している。</p>	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部 医療安全管理部		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	臨床倫理委員会
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	臨床倫理委員会
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	大学法人
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。



(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

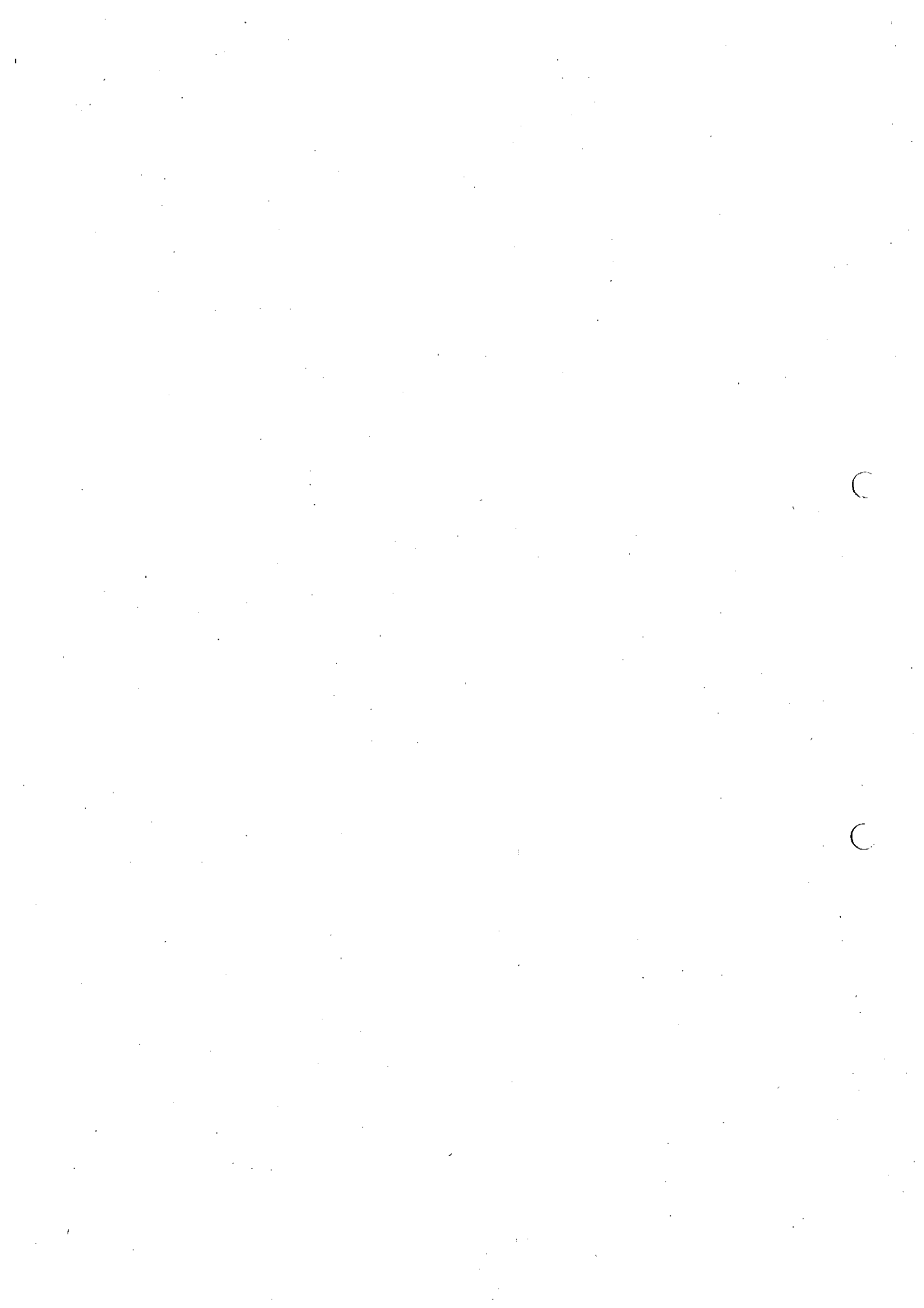
計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院管理課長 田川 裕隆	
閲覧担当者氏名	病院管理課副課長 堀井 孝	
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課 総務調整担当	
閲覧の手続の概要 閲覧請求者の住所、氏名、請求記録名、閲覧理由を聴取した上で、請求のあった記録を所管する部署から該当資料を取り寄せ、病院管理課内で閲覧に供する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。



(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">安全管理のための基本的な考え方安全管理のための組織医療事故発生時の対応医療事故及びインシデント報告制度職員の教育・研修及び啓発患者相談窓口	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none">設置の有無 (有・無)開催状況：年 1 2回活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">安全管理のための指針の策定及び変更院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施安全管理のための教育・研修及び啓発の検討	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年35回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">防災体制改訂について医療機関における個人情報保護対応医療事故調査制度と特定機能病院の医療安全対策強化のための見直し電子カルテのシステムダウン時の対応危険予知トレーニング (KYT)輸血関連インシデント・アクシデント事例と対策苦情・クレーム対応研修	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療安全のための院内調査ラウンドの実施オカレンス報告の実施職員間での情報共有と注意喚起のための、インシデント事例等を掲載した「医療安全管理部ファイル」の作成、供覧人工呼吸器のリスク管理のための、チームによる院内ラウンドの実施急変対応ワーキングチームによるシステムの見直し、教育	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) 無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方<ul style="list-style-type: none">院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針感染症の発生状況の報告に関する基本方針院内感染発生時の対応に関する基本方針患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： 感染症発生状況 (対応状況も含む)<ul style="list-style-type: none">MRSA等耐性菌の発生状況報告 (対応状況も含む)抗MRSA薬等の使用状況報告 (適正使用に関する指導状況も含む)その他院内感染対策の推進に関する方策の検討	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年28回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">下痢・嘔吐蚊媒介感染症針刺し事故と感染症インフルエンザ耐性菌	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	(有) 無
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備その他の改善のための方策の主な内容： 各所属に「感染対策推進員」を配置し、年4回の合同会議の開催を計画し、院内感染対策の推進を図っている。さらに看護部門には推進員とは別に「リンクナース」を配置し、月1回の定期的な会を開催し院内感染対策の推進を図っている。また、感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスを行い、電子カルテシステムの掲示板の活用等の手段により随時周知徹底を図っている。	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年4回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p><全職員対象></p> <ul style="list-style-type: none">○医薬品安全管理セミナー 「医療安全とチーム医療」(H28/6/24, 220名) (6/30録画, 190名) *6/24医薬品の禁忌理解度チェックを実施。回答及び正答率を院内全体に配布・供覧 <p><部門別></p> <ul style="list-style-type: none">○新人看護職員対象「医薬品の取扱い」(H28/4/6・7, 計82名)○手術室医師対象「麻薬・筋弛緩薬の取扱い」 (H28/4/6・5/9・6/6・7/4・8/1・9/5・10/3・11/7・12/5・1/10・2/6・3/6, 計42名)○感染対策推進員対象研修会 「術後感染予防的抗菌薬投与のポイント」(H28/7/19, 85名) <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none">○病棟薬剤師による各病棟での学習会 計5回, 計66名	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 業務手順書に基づく年2回の業務チェックと手順書の見直し ・係長以上で年2回、業務手順書の再点検をし、医療に関する安全管理対策会議に諮ったうえで手順書を改定2) 医薬品安全管理に関する院内ラウンド ・係長以上で年1回、全部署を訪問。手順書に基づく業務の遂行、特に医薬品や鍵、注射シリンジ等の管理状況、救急カート薬や備品の安全な使用、口頭指示の適切な運用、薬剤部から発信している情報の共有状況、輸液ソフトバックを取り扱う際のピンホールの有無のチェック、PTPシートの誤飲対策等を確認	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 未承認薬、適応外処方等の情報収集等<ol style="list-style-type: none">①医学倫理審査委員会、臨床倫理委員会でのかわり ・未承認薬及び適応外処方の審査及び安全な投与に向けた介入②薬剤部内・病棟内でのかわり ・未承認薬の持込 → 入退院センター業務、病棟薬剤業務、DI業務の中で把握 ・病棟での適応外使用 → 病棟薬剤業務の中で把握2) 院内での医薬関連事故等の把握と対策<ol style="list-style-type: none">①医療に関する安全管理対策委員会、医療安全サポート会議での検討(各月1回)②医薬品安全管理委員会での検討(月2回)<ul style="list-style-type: none">・アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有と対策の立案・未承認薬の処方状況の把握と共有	

3) 薬剤部での通常の実組 (主なもの)

- ①DIニュースの発行 (月1回)、医薬品情報誌の発行 (年3回)
- ②緊急安全性情報・安全性速報、厚労省医薬品・医療機器等安全性情報の他、重要な通知に関する電子カルテへの掲示、院内配布
- ③重要な情報は患者を特定し処方医に文書で通知し、確認印の押されたものを薬剤部で回収
- ④粉碎・一包化の可否情報、麻薬Q&A等薬剤部で加工した文書の電子カルテへの掲示
- ⑤向精神薬の重複処方・過剰処方のモニタリングと注意喚起
- ⑥注射薬バルへのルート・フィルター選択上の注意記載
- ⑦院外処方せんへの検査値記載及びトレーニングレポートシステムの導入

4) 薬剤部での最近の実組 (H28.4以降)

- ①院内処方箋への検査値表示による腎機能等のチェックの徹底 (H28.6~)
- ②ヒト抗PCSK9モノクローナル抗体製剤の適応症・併用薬等のチェックの徹底 (H28.7~)
- ③EGFR-TKI初回処方患者の前治療歴やILD等のチェックの徹底 (H28.7~)
- ④ミカール®の初回処方時の併用薬・投与量・増量間隔チェックの徹底 (H28.7~)
- ⑤全医薬品の処方量の把握 (H28.10~)
- ⑥アンギオ室での動注用抗がん剤、血液内科の髄腔内注射液の調製 (H28.11~)
- ⑦調剤室の防犯カメラ増設 (H29.1~)
- ⑧病棟での薬剤師による注射薬調製時のマニュアルの策定 (H29.4)
- ⑨血液内科病棟でのスパイクセット導入 (H29.6~)
- ⑩IL²®注射液のロット管理の導入 (H29.6~)
- ⑪小児科外来の成長ホルモン注射液の自己注射に関する薬剤師による患者指導 (H29.6~)
- ⑫ロゼフィン®注とCa含有注射液・輸液との併用に関する注意アラートの表示 (H29.7~)
- ⑬入院調剤室でのバーコードを活用した医薬品の計数調剤導入 (H29.8~)
- ⑭プロスタチン注 (500) 処方時の注意アラートの表示 (20の誤処方防止) (H29.8~)
- ⑮医薬品検索方法の見直し (H29.8~)
- ⑯バザダストラック®取扱いマニュアル (案) の策定 (H29.9)

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 15回
・ 研修の主な内容：人工呼吸器(VERA)、研修医向けHFOV研修会、ペースメーカー安全研修、血液浄化研修会など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有 無) ・ 保守点検の主な内容： 保守点検の主な内容：MEセンター管理機器の基本性能試験、電気的安全試験、(約4000台)/年 高度生命維持装置の業者依頼点検(人工呼吸器など)	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 情報収集 PMDA、メーカー発出情報からの情報収集、また医療安全管理部と多角的に連携している。 安全使用へのその他の方策 電子カルテ共有ファイルにME機器取扱い説明書のPDF版を掲示、「ME通信」情報ニュースを作成・配布(2回刊行/年)、医療安全管理部と連携して機器取扱いの動画掲載など行っている。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全担当の副病院長、医療安全管理部部長、医療にかかる安全対策委員会の委員長として病院全体の安全に関わる事柄を統括し指示・指導を行っている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (3 名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報室において、院内の医薬品の使用状況を月 1 回確認している。その結果を踏まえて、添付文書情報 (禁忌等)、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時の安全管理に係る情報を整理し、医薬品安全管理責任者に報告する。特に、安全使用が懸念される医薬品 (ラモトリギン等) については、医薬品毎に担当者を決め、安全体制を強化している。</p> <p>緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品の回収情報など周知徹底の必要な情報は、既に電子媒体や紙媒体など複数の方法によって確実かつ速やかに提供している。</p> <p>特に重要な情報については、処方患者を特定し処方医に注意文書を配布するとともに、処方医に閲覧印を取った後、回収することによって、周知を徹底している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認医薬品の使用若しくは適応外又は禁忌等の使用については、それぞれ調剤部門 (入院・外来)、病棟部門、製剤部門に責任担当者を平成 28 年 8 月に指名し、情報収集させるとともに、処方変更を含めた必要な提案や指導を行わせている。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：医療安全管理部，職種 薬剤師) (所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：毎月3診療科について診療録を確認し、定められた事項の遵守状況の点検を行い、必要時、指導を行っている。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>「退院時要約」、「手術記録」、「入院診療計画書」、「継続看護記録」について作成の有無を確認するなど診療記録の量的点検に取り組んでいる。また、「診療記録の記載マニュアル」を作成し、記載すべき項目や留意点を示したり、医師、看護師、コメディカルからなるWGにより診療記録の点検及び意見交換を行い、その結果を各所属にフィードバックすることで、診療記録の質的向上にも取り組んでいる。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（2）名、専任（2）名、兼任（7）名 うち医師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（2）名 うち薬剤師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>*平成30年4月より専従の医師・薬剤師の配置を行う予定</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故、インシデントに係る報告のとりまとめ ・ 医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析 ・ 安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導 ・ 安全管理のための教育、研修の実施 ・ 安全対策の推進 ・ 院内死亡事例の確認と病院長への報告 ・ インフォームド・コンセント実施要綱に従った説明同意書の作成推進と要綱の遵守状況の点検 <p>* 手術部、手術部で一定の基準以上の事象が発生した事例の把握、転倒転落率・褥瘡発生率・血液培養複数セット率・MRSA薬投与に対する薬物血中濃度の測定率などのモニタリング</p> <p>* 研修時にアンケートを行い医療安全に関する認識の把握</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 · 無)
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 · 無)
- ・活動の主な内容：高難度新規医療技術による医療を行う場合に、実施の適否等について審査及び承認を行うほか、当該医療を行う職員の遵守事項等の遵守状況を実施結果報告により確認している。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 · 無)
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 · 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 · 無)
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 · 無)
- ・活動の主な内容：未承認薬の使用、医薬品・医療機器の目的外使用等について、審査及び承認を行うほか、必要に応じ、実施結果の報告を求めている。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 · 無)
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 · 無)

⑨ 監査委員会の設置状況

有 · 無

- ・監査委員会の開催状況：年2回（予定）
- ・活動の主な内容：
 - ・病院の医療安全管理部、医療に関する安全対策委員会、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者等の業務の状況について、病院長から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を行う。
 - ・必要に応じ、医療に係る安全管理については是正措置を講ずるよう意見を表明する。
 - ・監査の結果について速やかに公表する。
- ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有 無)
- ・委員名簿の公表の有無 (有 · 無)
- ・委員の選定理由の公表の有無 (有 · 無)
- ・公表の方法：京都府公立大学法人ホームページに掲載

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
松村 由美	京都大学医学部 附属病院	○	1	有・ 無	
平野 哲朗	立命館大学		1	有・ 無	
佐藤 恵子	京都大学医学部 附属病院		1	有・ 無	
秋篠 憲一	同志社大学		2	有・ 無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 321 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年アクシデント報告 60 件、オカレンス報告 143 件 計 203 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

死亡診断書と「医療事故該当性の主治医チェック表」の提出（報告）後、医療安全管理部副部長（医師）と安全管理推進者が診療録を確認し調査症例かどうか判定を行い、医療に関する安全対策委員会（医療安全管理委員会）で報告を行う。早急な対応が必要な場合緊急の対策委員会を開催する。

平成 26 年 11 月より手術室、平成 27 年 10 月より ICU、PICU で一定の基準を定めオカレンス報告を開始。アクシデント報告・オカレンス事例について医療に関する安全対策委員会で報告・検討を行っている。

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（）（病院名：京都大学医学部附属病院）・無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（）（病院名：京都大学医学部附属病院）・無
- ・技術的助言の実施状況

安全管理部医師 1 名が多くの役割を担っており、体制の整備が進むという良い面がある反面、負担や責任が集中すると思われるという指摘に対し、病院内で協力が得られるように体制を構築している。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

「患者相談等に関する要綱」に基づき、平成 15 年 4 月 1 日から「患者相談窓口」（医療サービス課所管）を設置し、事務職員、PSW、MSW、看護師が、平日の 8：45～17：00 まで対応している。その際に、患者、家族等からの相談、要望、意見等を専門の相談員又は安全管理推進者が聞きして支援することとしている。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (有 無)
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無 (有 無)
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (有 無)

⑭ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

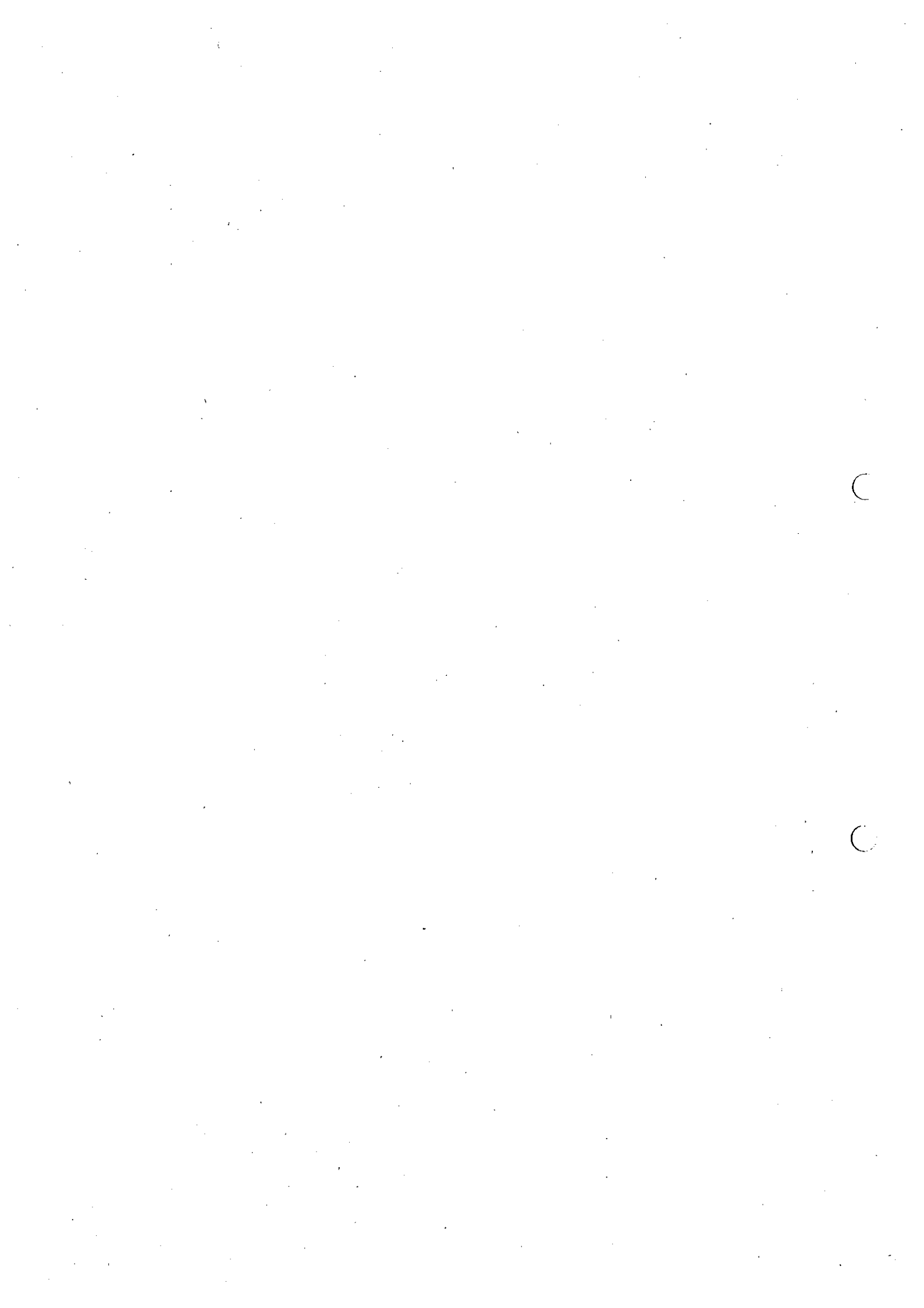
全職員を対象とした医療安全研修会として、特定機能病院の医療安全対策強化について、安全な医療を行うために必要な知識、医療安全に関する感性を高める内容、インシデント・アクシデントの具体的事例の改善策などについて研修を実施した。また、新採用者、研修医に対しては、インシデント・アクシデント報告の流れ、具体的事例の改善策についての研修を実施した。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

第3回日本医療安全学会総会、一般社団法人京都府医師会主催の医療安全講演会、日本病院薬剤師会主催の医薬品安全管理責任者講習会等への出席を確認し、特定機能病院の医療安全管理に携わる管理者等のための研修の受講を促した。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)



(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 ・評価を行った機関名：(公財) 日本医療機能評価機構 ・評価を受けた時期：平成28年2月 (認定期間：平成28年3月20日～平成33年3月19日)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページに本院の特定機能病院としての医療提供に係る特色、病院の理念・基本方針、各種指定の状況等について掲載し、情報発信を行っている。 また、患者向け広報誌を発行(年3回)し、院内での取組等について、定期的に情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 外来では、消化器センター、循環器センター、呼吸器センターなど7つのセンターで、複数診療科が連携して診療対応に当たっている。	

